

ファインステージⅡ

高床デッキ用 踊り場・階段 施工説明書

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

◎設置場所・位置について

- ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。

◎施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますので使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを请使用ください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。

- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- 基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。また、寒冷地はその地域にあった基礎工事を行ってください。
- 地盤が軟弱な場合は、柱の埋込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていたこと」を示しています。



- 階段の手すりに乗ったり、揺すったりしないでください。
- 階段の手すりに電線などを直接載せないでください。
- 階段の手すりは転落防止機能はありません。防護柵としての使用はできません。



本商品は、ファインステージ・高床デッキ専用品です。他商品への取付けはできません。



本商品には、下記の施工説明書が同梱されています。合わせて参照してください。

- ・ファインステージ [ME-1778]
- ・転落防止手すり [ME-1674]

もくじ

梱包明細	2	2-2 デッキ材の切断	17
各部の名称	3	2-3 本体デッキ材の取付け	17
納まり図	4	2-4 踊り場デッキ材・デッキフェンス・鼻隠しの取付け	18
踊り場骨組み図	8	3. 階段の取付け	20
1. 床下の施工	9	3-1 階段踏板の取付け	20
1-1 束柱・大引・根がらみの設置	9	3-2 階段手すり柱ブラケット・階段側板キャップの取付け	21
1-1-1 パターン1の場合	10	3-3 階段の取付け	22
1-1-2 パターン2の場合	11	4. 手すりの取付け	23
1-1-3 パターン3の場合	12	4-1 施工前の確認	23
1-2 階段取付部品の取付け	13	4-2 階段手すり柱（デッキ上）の取付け	24
1-3 床下補強材・床下補強アングルの取付け	14	4-3 エンド部品の取付け（階段上部）	24
1-3-1 パターン1の場合	14	4-4 階段手すり柱（中間）・笠木・パネルの取付け	25
1-3-2 パターン2の場合	15	4-5 エンド部品の取付け（階段下部）	26
1-3-3 パターン3の場合	16	4-6 手すり柱の本締め	26
2. デッキ材・デッキフェンス・鼻隠しの取付け	17	4-7 笠木溝ふさぎ材の取付け（※オプション）	27
2-1 施工順序の確認	17	施工工事店様、販売店様へのお願い	28

梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いかわ確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

表内の（ ）は個数を表しています。

梱包名称		梱包内容			
階段	側板		階段側板（左 / 右各 1）		
		側板部品セット	階段側板カバー（2）・φ 4 × 16 セルフドリリングビス（4） M8 × 20 六角ボルト（4）・M8 用平座金（4）・M8 用バネ座金（4） 階段側板キャップ（左 / 右各 1）・φ 4 × 20 トラストッピン 1 種（2）・M4 用平座金（2）		
	踏板		階段踏板（6）		
		踏板部品セット	階段踏板アングル（12）・M8 × 16 六角ボルト（36）・M8 用平座金（36）・M8 用バネ座金（36） M8 袋ナット（36）・φ 4 × 16 セルフドリリングビス（24）		
	束柱		階段束柱（2）		
		階段束柱セット部品	階段取付ブラケット（2）・M8 × 25 六角ボルト（8）・M8 用平座金（8）・M8 用バネ座金（8） 階段取付横桟（2）・M8 × 30 六角ボルト（16）・M8 用平座金（16）・M8 用バネ座金（16） 床下補強アングル（2）・φ 4 × 13 セルフドリリングビス（8）		
手すり	階段手すり柱（中間）		階段手すり柱（中間）（1）		
		ブラケット受け材セット	ブラケット受け材（1）・M6 × 18 アップセットボルト（2）・M6 用平座金（2） M6 用バネ座金（2）		
	階段手すり柱（デッキ上）		階段手すり柱（デッキ上）（1）		
		ブラケット受け材セット	ブラケット受け材（1）・M6 × 18 アップセットボルト（2）・M6 用平座金（2）・M6 用バネ座金（2）		
	階段手すりパネル		階段手すりパネル（1）		
	パネルブラケット		パネルブラケット（4） M6 × 30 アップセットボルト（4）・M6 用平座金（8）・M6 用バネ座金（4）・M6 袋ナット（4） M4 × 6 皿小ネジ（8）・φ 4 × 19 皿セルフドリリングビス（8） 施工説明書 [ME-1674]（1）		
	高床デッキ 階段手すり部品		巾決め材（4）・デッキ上柱ブラケット（4） M6 × 55 六角ボルト（8）・M6 用平座金（16）・M6 用バネ座金（8）・M6 袋ナット（8） 柱キャップ（2）・φ 4 × 16 トラストッピン 3 種（4） φ 5 × 35 セルフドリリングビス（4）・M5 用平座金（4） 階段手すり柱ブラケット（4）・φ 4 × 16 セルフドリリングビス（24）・M8 × 20 六角ボルト（8） M8 用平座金（8）・M8 用バネ座金（8）・M8 袋ナット（8）		
	U D 手 すり	A・B・C 型笠木 [アルミ・樹脂]	中間	笠木（1）	
		D 型笠木 [アルミ]			
		エンド部品	ストレート	A 型	エンド部品（1）・M4 × 8 ナベ小ネジ（1）
B 型・D 型					
C 型				エンド部品（1）・φ 4 × 10 トラストッピン 3 種（2）	
アール			A 型	エンド部品（1）・M4 × 12 ナベ小ネジ（2）	
			B 型・D 型		
			C 型（右） C 型（左）	エンド部品（1）・M4 × 10 ナベ小ネジ（2）	
笠木溝ふさぎ材 （※オプション）		笠木溝ふさぎ材（1）			
踊り場	踊り場床下材		踊り場大引（左 / 右各 1）・踊り場連結大引（2）・連結用床下補強材（2）		
		踊り場セット部品	踊り場連結部品（4）・φ 5 × 16 トラストッピン 3 種（16） φ 4 × 13 セルフドリリングビス（8） ターンナット（M6 用）（4）・φ 6 × 25 トラストッピン 3 種（4） デッキ材取付金具（端部用）（2）・φ 4 × 13 皿セルフドリリングビス（6） φ 5 × 16 トラストッピン 1 種（2）・施工説明書 [ME-1890]（1） デッキ材取付金具（10） φ 4 × 13 セルフドリリングビス（10）・φ 4 × 13 皿セルフドリリングビス（5） 鼻隠し取付部品（6）・φ 5 × 16 ナベタッピン 1 種（12）		
	踊り場用鼻隠し		踊り場鼻隠し [L=1055]（2）・踊り場鼻隠し [L=1185]（1）		
	鼻隠し取付ビスセット	φ 5 × 60 皿セルフドリリングビス（10）			
束柱	長々束柱（2 本入り）		長々束柱（2）		
		束柱セット部品	φ 5 × 16 トラストッピン 3 種（8）		

各部の名称

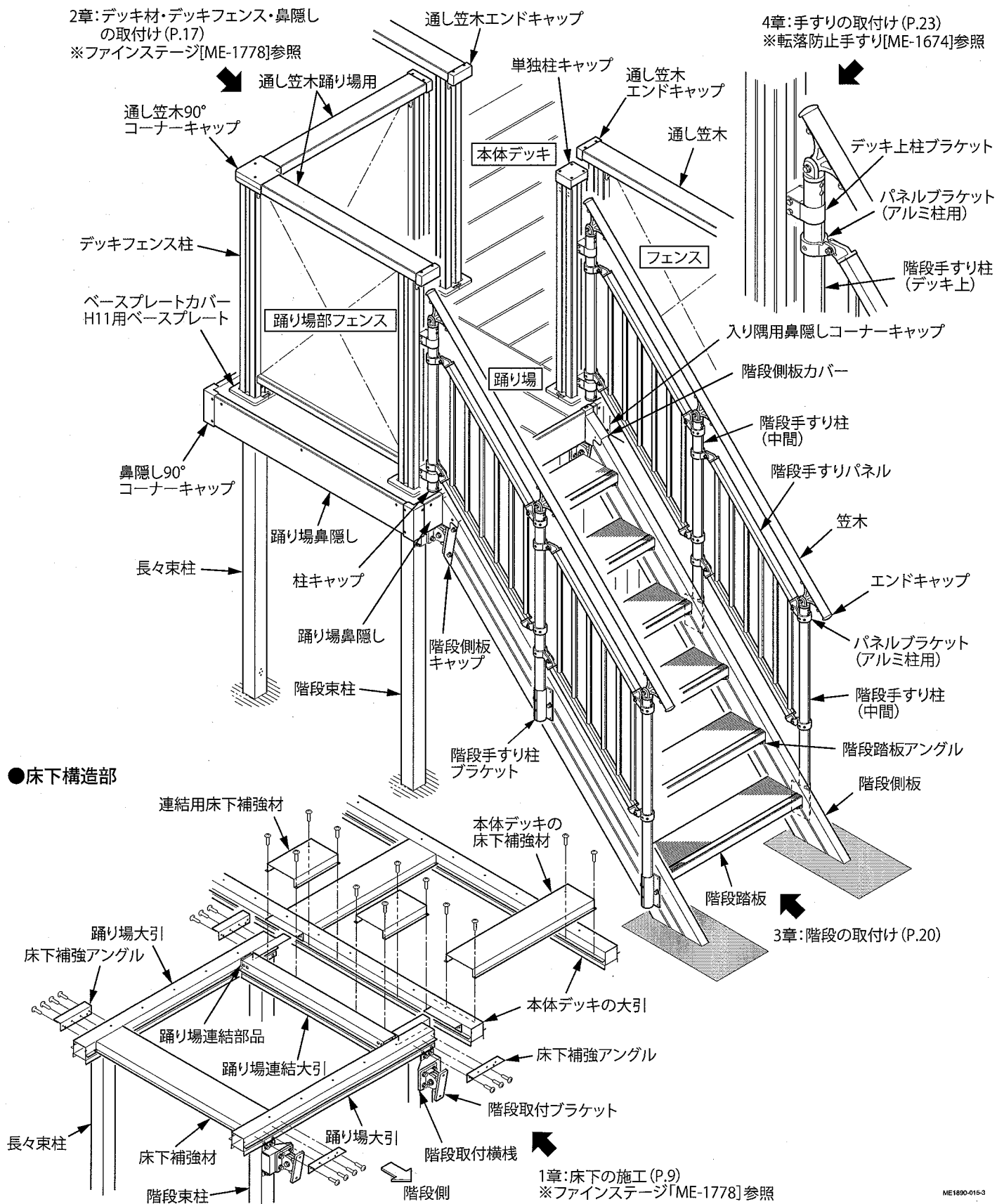
- 組立施工および調整の説明項目を示しています。施工作業前に、確認してください。
- ※ () 内は説明ページを示しています。
- 本図は、「パターン1」の場合を示しています。(※各パターンについては次ページの「納まり図」を参照)



本体デッキの施工については、「高床デッキ・高強度デッキフェンス」の施工説明書 [ME-1904] を参照してください。

2章: デッキ材・デッキフェンス・鼻隠しの取付け (P.17)
※ファインステージ [ME-1778] 参照

4章: 手すりの取付け (P.23)
※転落防止手すり [ME-1674] 参照



納まり図

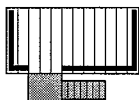
- この納まり図は、間口 (W) :2.0 間、出巾 (D):9 尺を示しています。
- 間口 : Nw、出巾 : Nd に数字をあてはめて、規格サイズの寸法を算出してください。

パターン 1

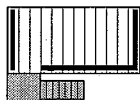
条件：本体デッキの小口面に踊り場が接続

●該当する組合せ

デッキたて張り

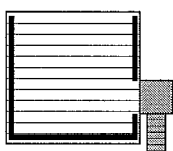


踊り場が
「本体デッキの中間」

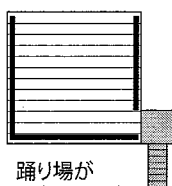


踊り場が
「本体デッキの端」

デッキよこ張り



踊り場が
「本体デッキの中間」



踊り場が
「本体デッキの端」

ME1890-121

⚠ 注意

踊り場には必ずデッキフェンスを L 字型に取付けてください。

※デッキフェンスを L 字型に取付けないと、踊り場から転落するなどの事故によるケガの原因になります。



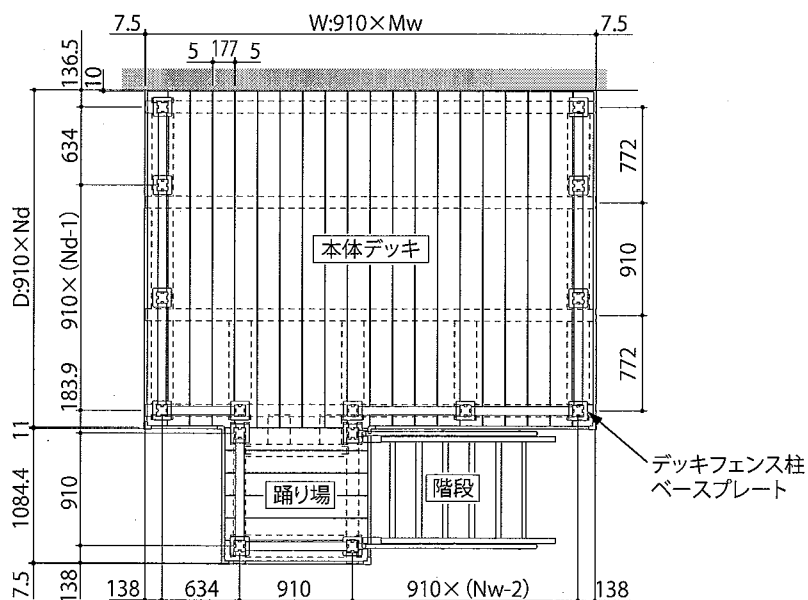
高強度デッキフェンスは、必ず、直線 2 スパンまたは L 字型で取付けてください。

※単体 (1 スパン) で取付けしないでください。デッキフェンスの強度上、2 スパン以上が必要です。

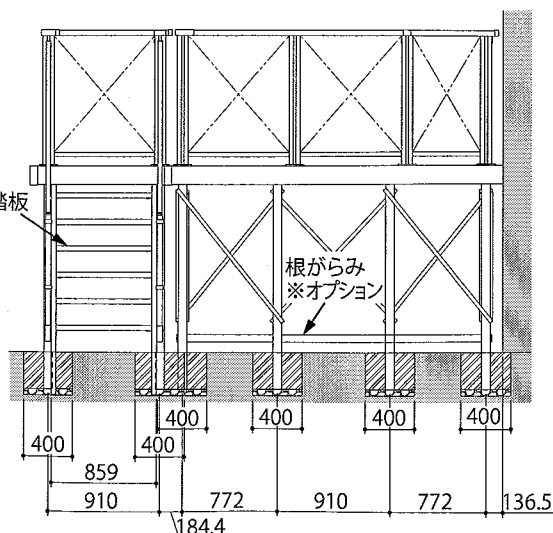
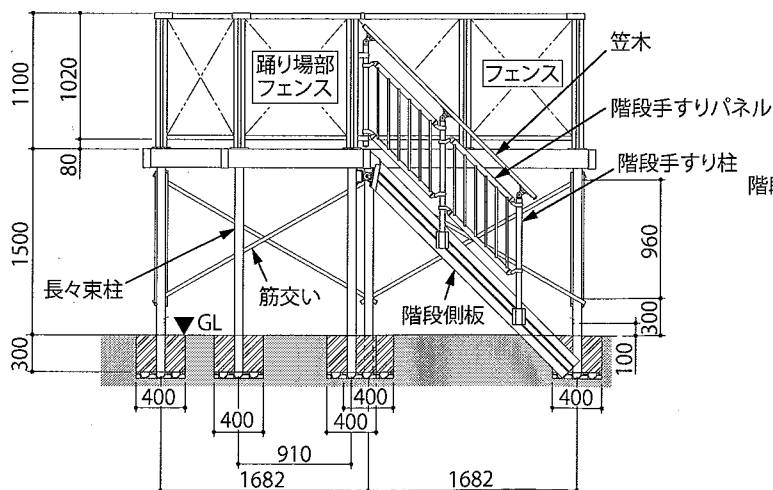


階段部分の取付寸法および基礎については、7 ページの「階段詳細図」を参照してください。

※「デッキたて張り」で踊り場が「本体デッキの中間」の例



ME1890-008-3



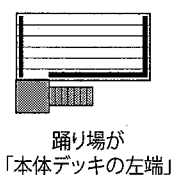
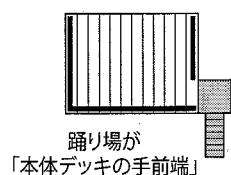
パターン 2

- 条件：①本体デッキの長手方向に踊り場が接続
②本体デッキの端に踊り場が接続

●該当する組合せ

デッキたて張り

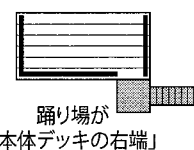
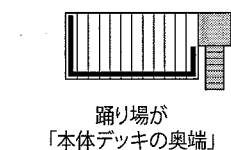
デッキよこ張り



※下記の場合は、デッキ本体と踊り場の床下構造の位置関係が左右反転します。

デッキたて張り

デッキよこ張り



※「デッキたて張り」で踊り場が「本体デッキの手前端」の例

⚠ 注意

踊り場には必ずデッキフェンスを L 字型に取付けてください。

※デッキフェンスを L 字型に取付けないと、踊り場から転落するなどの事故によるケガの原因になります。



高強度デッキフェンスは、必ず、直線 2 スパンまたは L 字型で取付けてください。

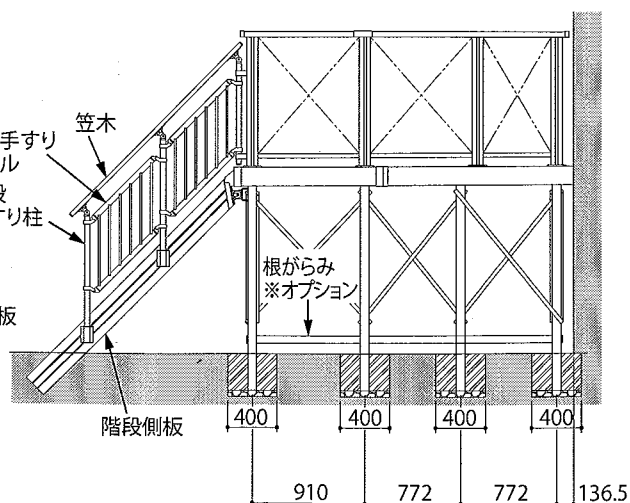
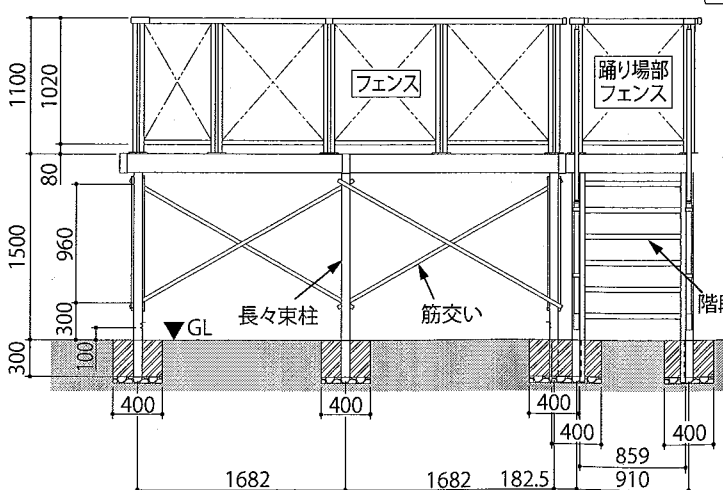
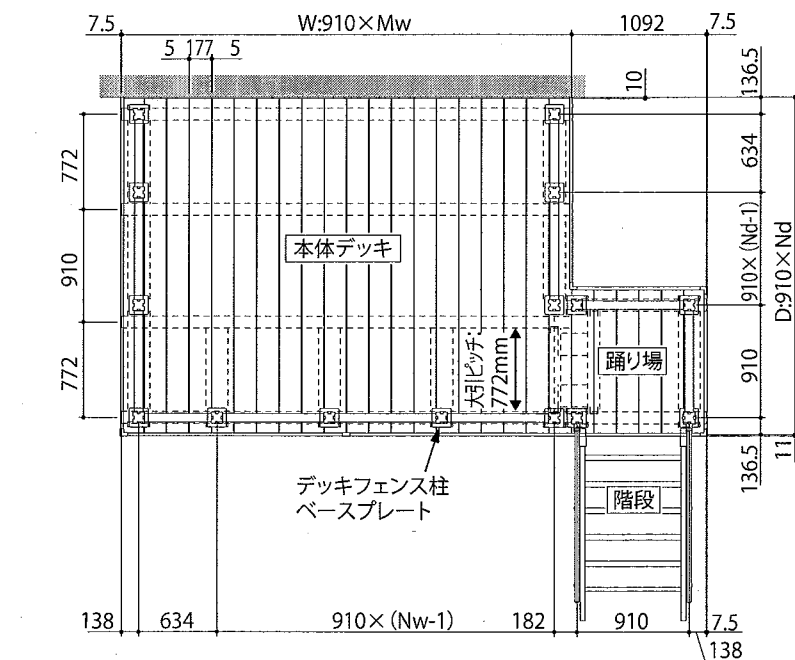
※単体 (1 スパン) で取付けしないでください。デッキフェンスの強度上、2 スパン以上必要です。



踊り場を取付ける位置の大引ピッチは 772mm となります。



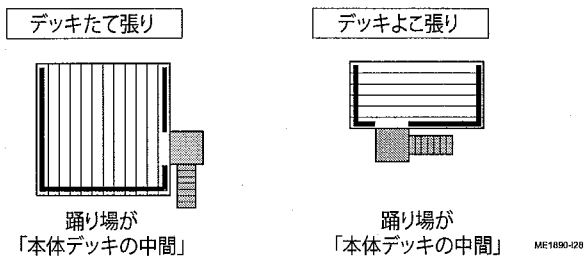
階段部分の取付寸法および基礎については、7 ページの「階段詳細図」を参照してください。



パターン 3

条件： ①本体デッキの長手方向に踊り場が接続
②本体デッキの中間に踊り場が接続

●該当する組合せ



⚠ 注意

踊り場には必ずデッキフェンスをL字型に取付けてください。

※デッキフェンスをL字型に取付けないと、踊り場から転落するなどの事故によるケガの原因になります。

高強度デッキフェンスは、必ず、直線 2 スパン
または L 字型で取付けてください。

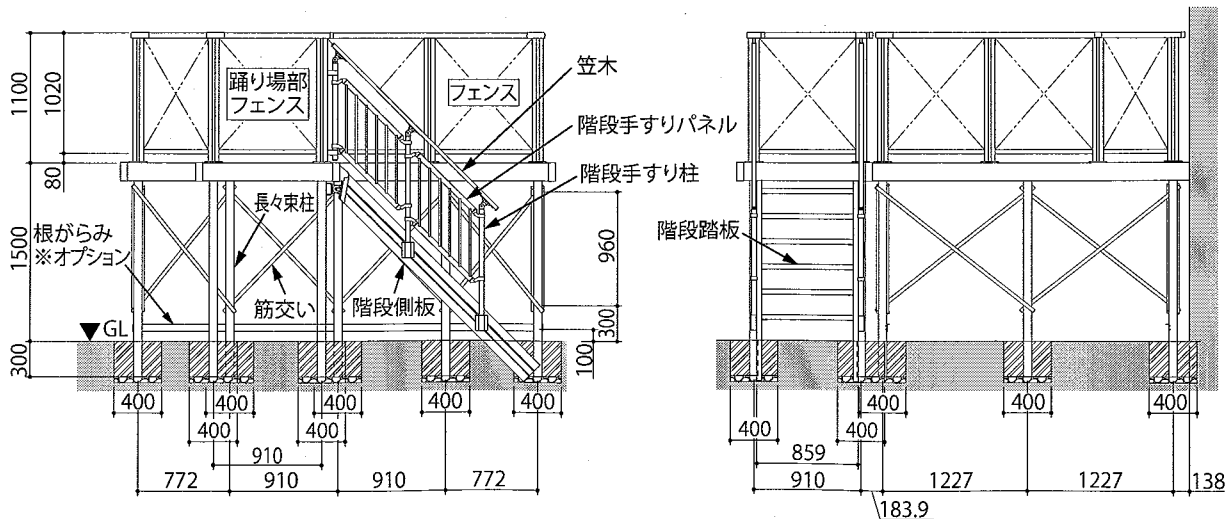
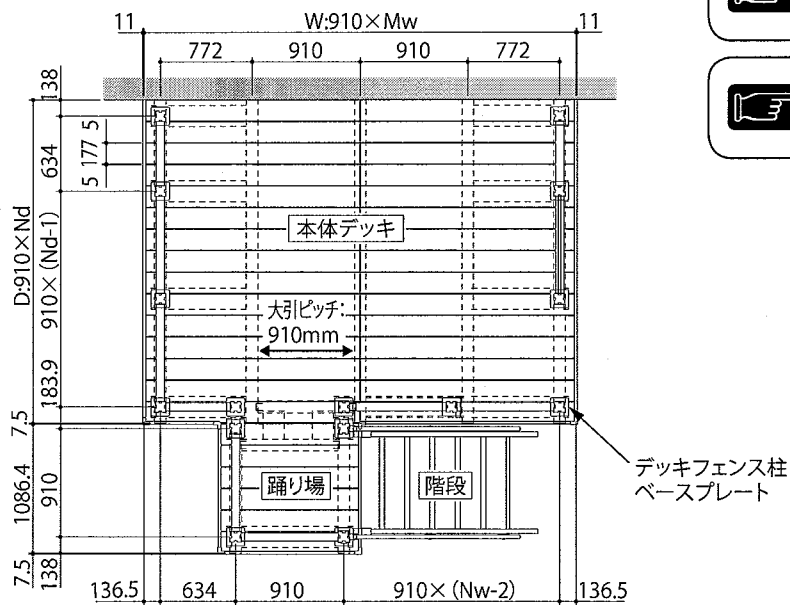
※単体(1スパン)で取付けないでください。デッキフェンスの強度上、2スパン以上必要です。

踊り場を取付ける位置の大引ピッチが 910mm となるように、大引の位置をずらしてください。

階段部分の取付寸法および基礎については、7 ページの「階段詳細図」を参照してください。

踊り場の設置位置によっては、デッキ本体と踊り場の床下構造の位置関係が左右反転します。

※「デッキよこ張り」の例



ME1890-016



- 



- ### ●階段角度 45° の例



This technical drawing illustrates a staircase railing system. The main side elevation shows a railing with a 45° handrail slope. Key components labeled include:

- 階段手すり柱 (中間)**: Intermediate handrail post.
- 階段手すり柱 (デッキ上)**: Handrail post on the deck level.
- 笠木**: Top cap of the handrail.
- 階段手すりパネル**: Handrail panel.
- 階段踏板**: Stair tread.
- 階段側板**: Stair side board.
- 階段東柱**: End post of the handrail.
- デッキFL**: Deck finish line.
- GL**: Ground level.

 Dimensions are provided in millimeters: horizontal offsets (290.4, 618.7, 618.7, 111), vertical heights (1100, 815, 1100, 1500, 1020, 14.9, 345, 300), and base dimensions (150, 486.4, 100, 400). A section line 'A-A' is indicated at the bottom left.

Technical drawing of a staircase section showing structural details and dimensions. The drawing includes the following labels and dimensions:

- Labels:**
 - 階段手すり柱 (中間) (Intermediate Stair Handrail Post)
 - 階段手すり柱 (デッキ上) (Stair Handrail Post on Deck)
 - 階段手すり (中間) (Intermediate Stair Handrail)
 - 階段手すり (デッキ上) (Stair Handrail on Deck)
 - 階段踏板 (Stair Tread)
 - 階段側板 (Stair Side Panel)
 - 階段束柱 (Stair Stringer Post)
 - 笠木 (Nosing)
 - デッキFL (Deck Finish Line)
 - GL (Ground Level)
- Dimensions:**
 - Horizontal dimensions: (475.2), (661.1), (661.1), 111, (368.5), 100, (57.4), (1908.4)
 - Vertical dimensions: 1020, 1100, 815, 1500, 300, (34.9), (11.6), (31.2), 400
 - Angle: 40°
 - Height: H:1100
- Other:**
 - Section line A-A is indicated by a horizontal arrow pointing right.

[illegible]

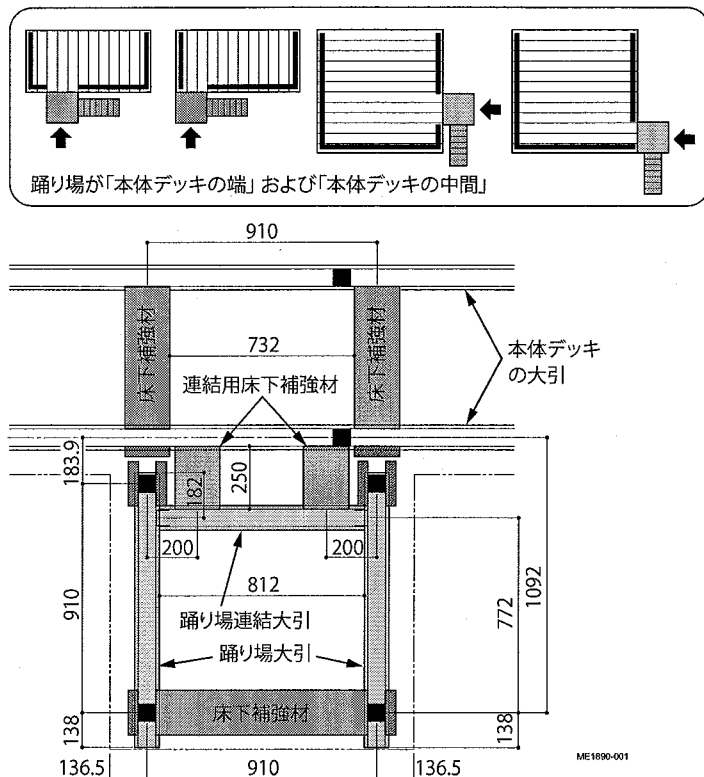
ME1890-014-1

踊り場骨組み図

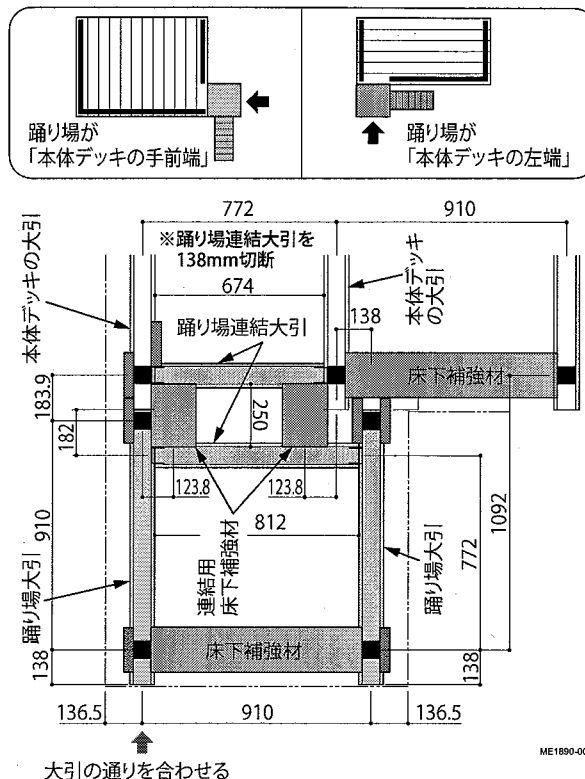
●各パターンごとの床下構造を示しています。施工前に確認してください。
(※各パターンについては、4～6ページの「納まり図」を参照)

■:束柱 ■:床下補強アングル

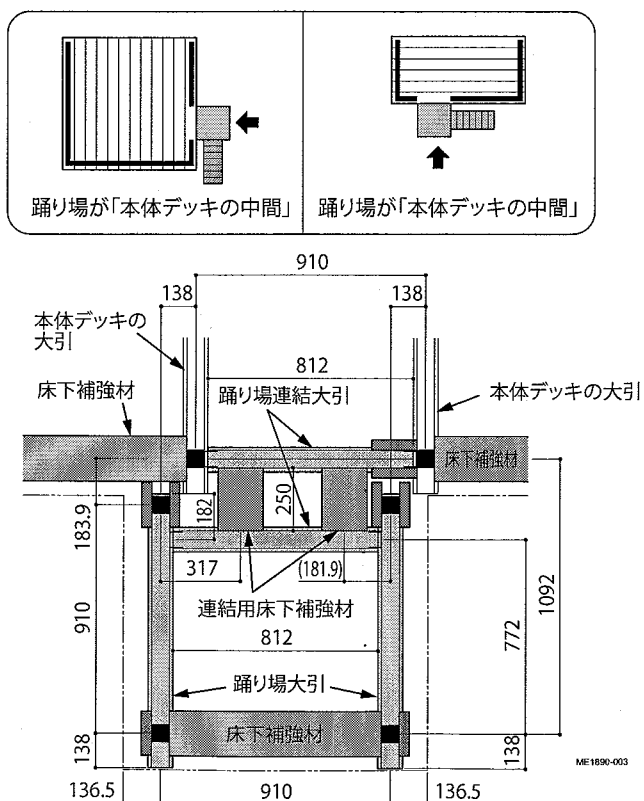
●パターン1



●パターン2

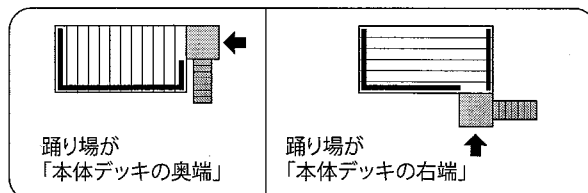


●パターン3



パターン2の場合は、デッキ本体と踊り場の床下構造の位置関係が左右反転する組合せがあります。(※下記参照)

●床下構造の位置関係を左右反転させる組合せ
(パターン2の場合)



パターン3の場合は、踊り場の設置位置によっては、デッキ本体と踊り場の床下構造の位置関係が左右反転します。

1

床下の施工

●ファインステージの施工説明書 [ME-1778] を合わせて参照してください。

1-1 束柱・大引・根がらみの設置



本体デッキにデッキ材を取付ける前に、
本手順を行ってください。
※本体デッキのデッキ材取付後は、デッキ材を
取外しないと床下の施工ができなくなります。



オプションで根がらみを取付けることが
できます。

● [ME-1778] の参照先

「1-1. 根がらみの切詰め」

「1-2. 大引・根がらみの取付け」

「1-3-2. 埋込式長束柱の設置」

① 8 ページの「踊り場骨組み図」を参照し、各部材・
部品の取付位置を確認してください。

② [ME-1778] と同じ要領で、根がらみ・大引を長々
束柱に取付け、埋め込んでください。

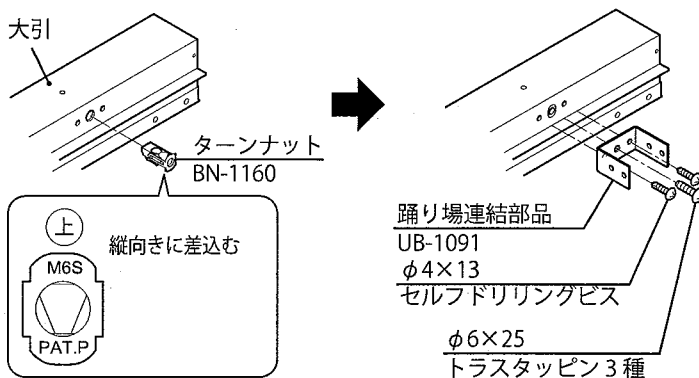


踊り場連結大引は、踊り場連結部品を使用
して取付けてください。



各パターンごとのイラストを参照してくだ
さい。(10 ~ 12 ページ参照)

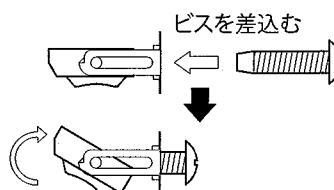
●踊り場連結部品の取付け



ME1890-103

●ターンナットの使用方法

※ボルトを差し込むことにより、束柱内部でナット部が回転します。

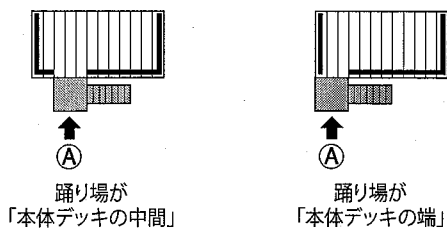


ME1738-817

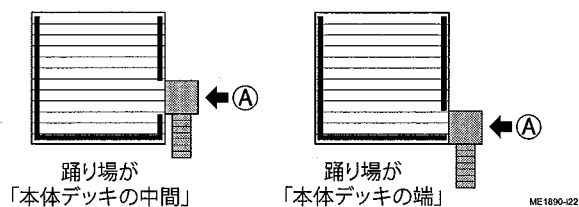
1-1-1 パターン 1 の場合

●該当する組合せ

デッキたて張り



デッキよこ張り



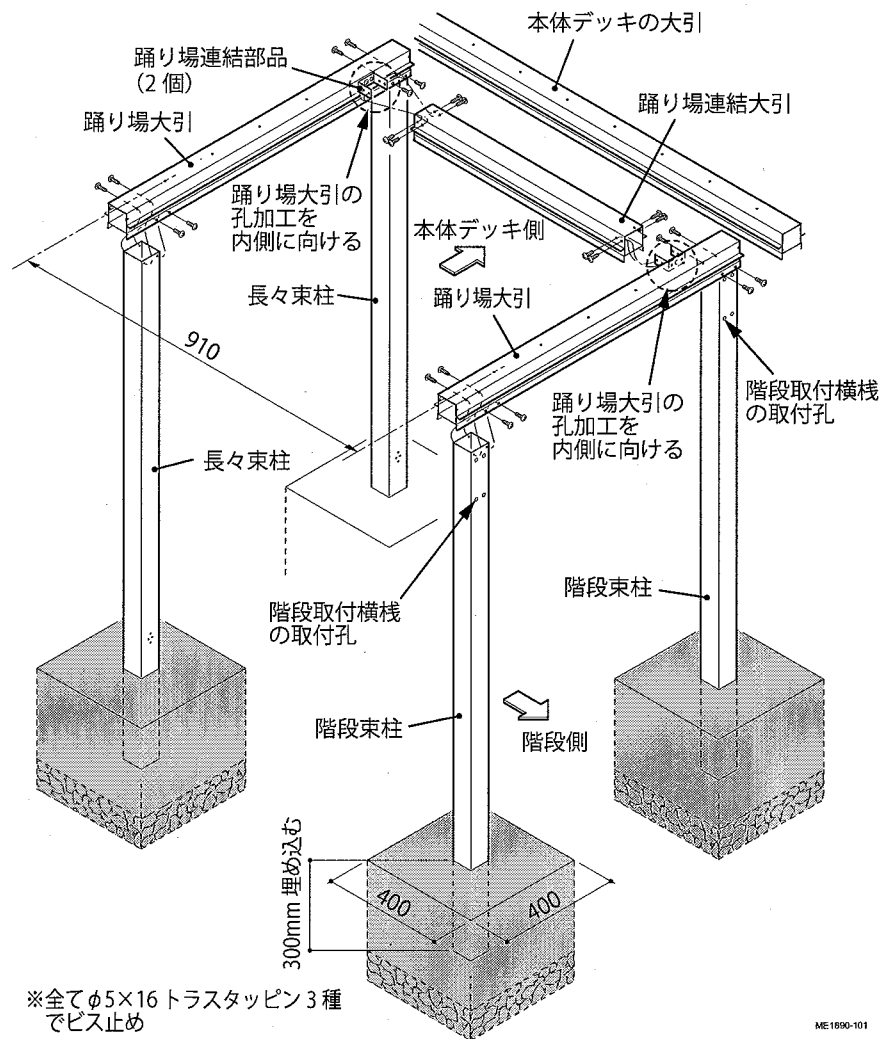
ME1890-122



イラストは、矢印④の方向から見ています。



8 ページの「踊り場骨組み図」を合わせて参照してください。



※全てφ5×16 トラスタッピン 3 種
でビス止め

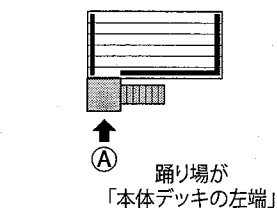
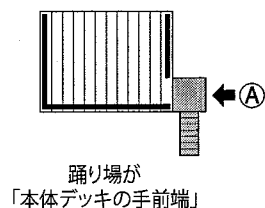
ME1890-101

1-1-2 パターン 2 の場合

●該当する組合せ

デッキたて張り

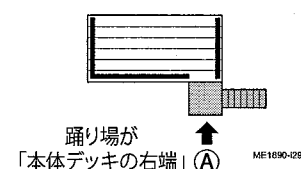
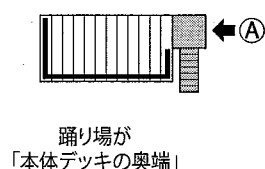
デッキよこ張り



※下記の場合は、デッキ本体と踊り場の
床下構造の位置関係が左右反転します。

デッキたて張り

デッキよこ張り



ME1890-029



イラストは、矢印Aの方向から見て
います。



8 ページの「踊り場骨組み図」を合
わせて参照してください。

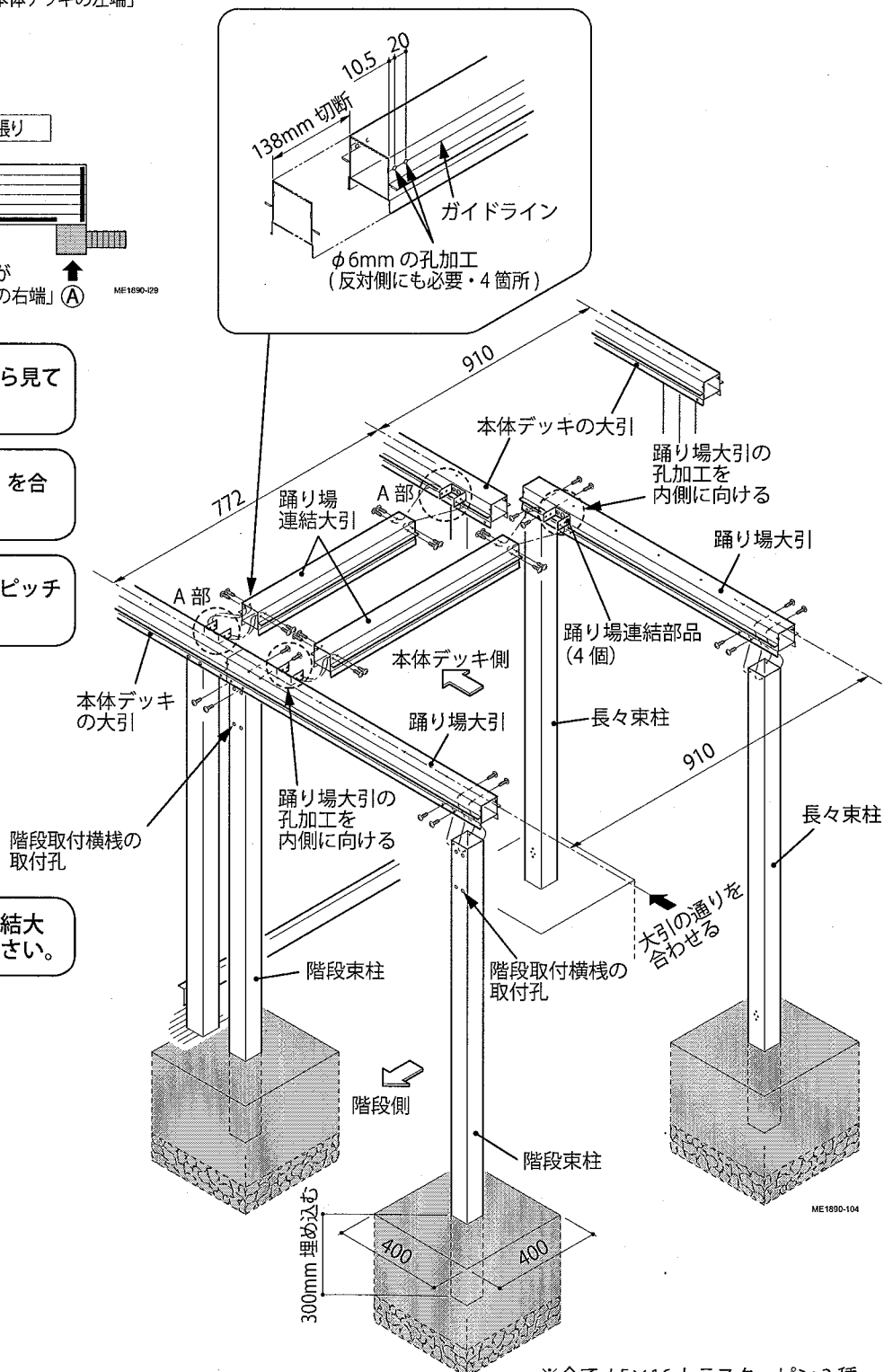
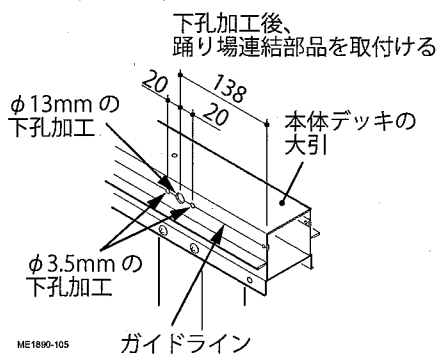


踊り場を取付ける位置の大引ピッチ
は 772mm となります。



本体デッキの大引に踊り場連結大
引用の下孔加工を行ってください。

● A 部詳細図

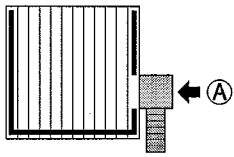


※全てφ5×16 トラスタップイン 3 種
でビス止め

1-1-3 パターン3の場合

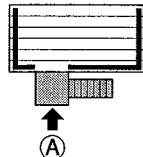
●該当する組合せ

デッキたて張り



踊り場が「本体デッキの中間」

デッキよこ張り



踊り場が「本体デッキの中間」

ME1890-119



イラストは、矢印④の方向から見ています。



踊り場の設置位置によっては、デッキ本体と踊り場の床下構造の位置関係が左右反転します。



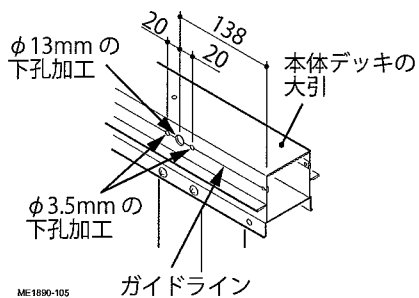
8 ページの「踊り場骨組み図」を合わせて参照してください。



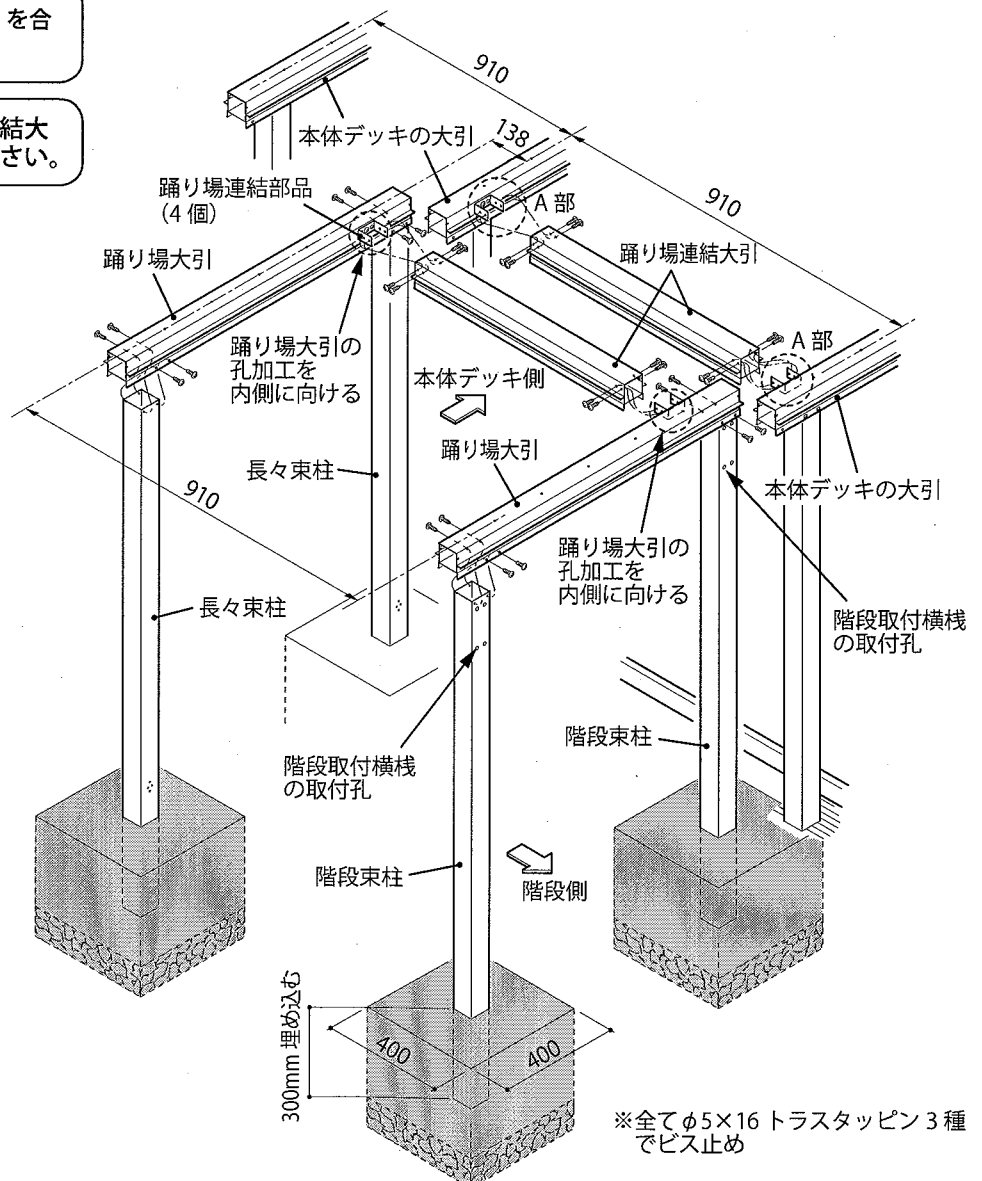
本体デッキの大引に踊り場連結大引用の下孔加工を行ってください。

● A 部詳細図

下孔加工後、
踊り場連結部品を取付ける



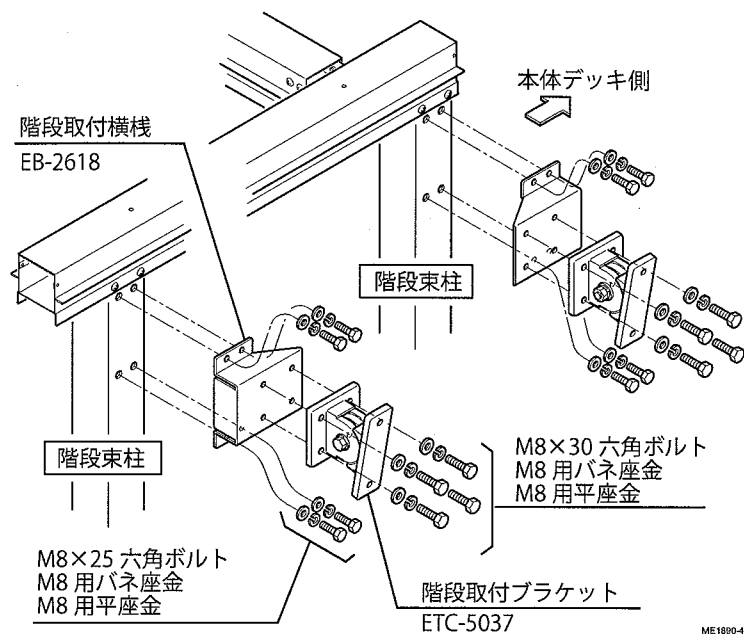
ME1890-105



※全てφ5×16 トラスタッピン 3種
でビス止め

1-2 階段取付部品の取付け

- ①階段取付横棧を階段束柱に取付けてください。
- ②階段取付ブラケットを階段取付横棧に取付けてください。



ME1890-407

1-3 床下補強材・床下補強アングルの取付け



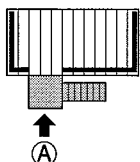
[ME-1778] の参照先
「2. 床下補強材の取付け」

① [ME-1778] と同じ要領で、床下補強材、床下補強アングルを取付けてください。

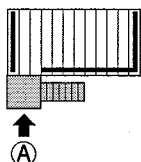
1-3-1 パターン 1 の場合

●該当する組合せ

デッキたて張り



踊り場が
「本体デッキの中間」



踊り場が
「本体デッキの端」

デッキよこ張り



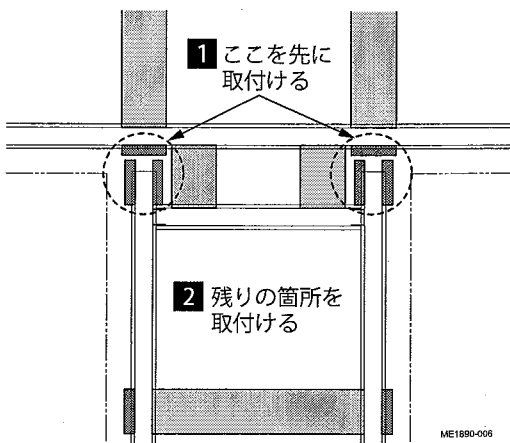
踊り場が
「本体デッキの中間」

ME1890-22



踊り場が
「本体デッキの端」

●部品・部材の取付順序



イラストは、矢印Aの方向から見えています。



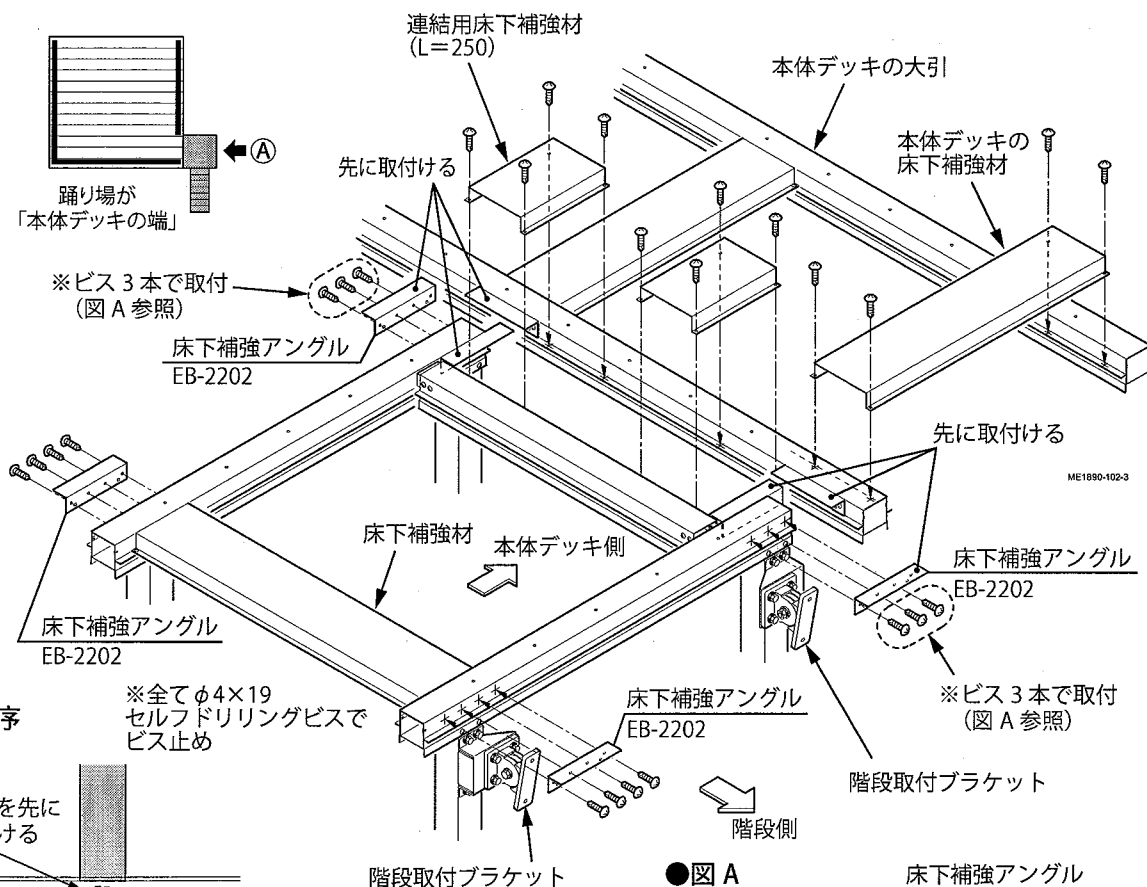
部品・部材の取付順序を守ってください。
※順序を守らないと、後から工具が入らなくなるため、取付ビスが打てなくなります。



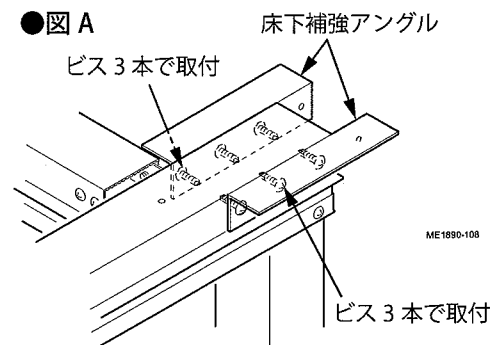
本体デッキ側の床下補強アングルは、ビス3本で取付けてください。



8 ページの「踊り場骨組み図」の寸法を参照してください。



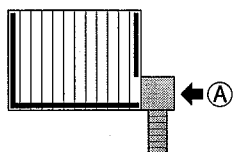
●図 A



1-3-2 パターン 2 の場合

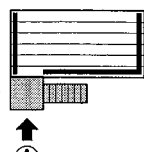
●該当する組合せ

デッキたて張り



踊り場が
「本体デッキの手前端」

デッキよこ張り



④ 踊り場が「本体デッキの左端」

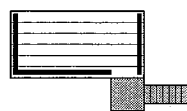
※下記の場合は、デッキ本体と踊り場の
床下構造の位置関係が左右反転します。

デッキたて張り

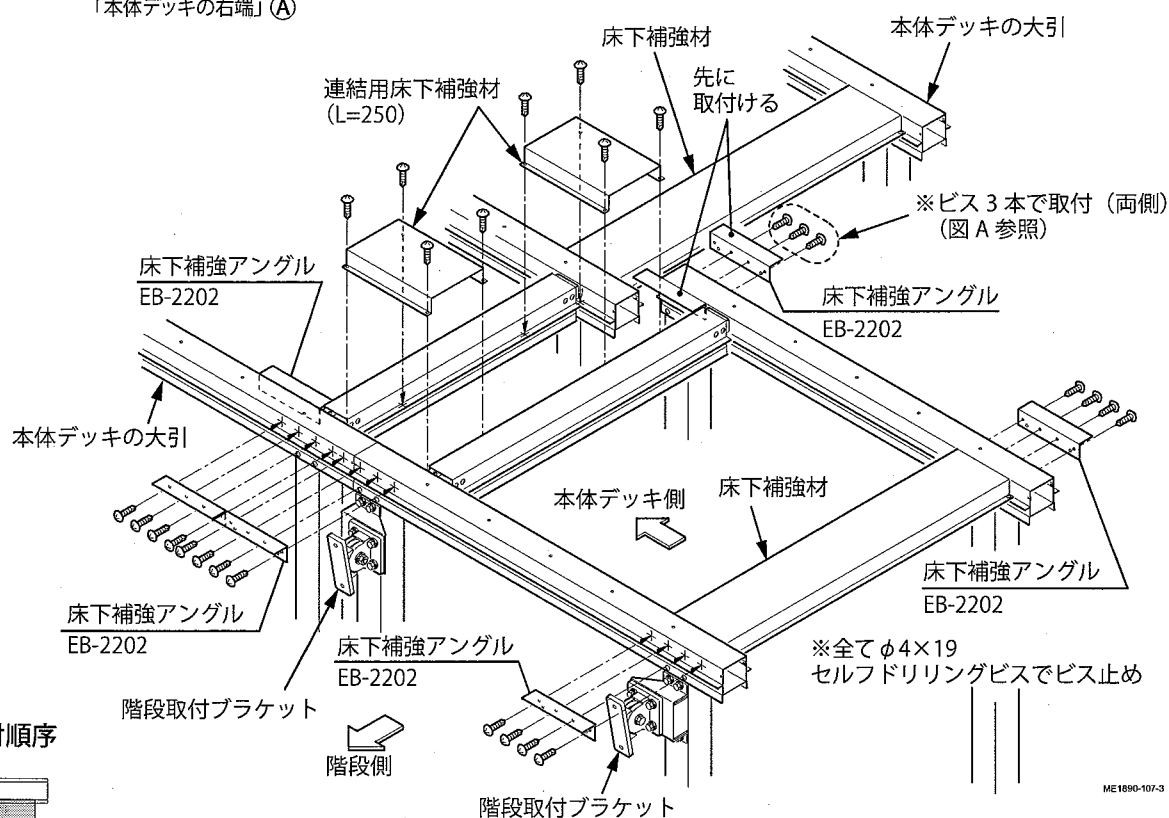


踊り場が
「本体デッキの奥端」

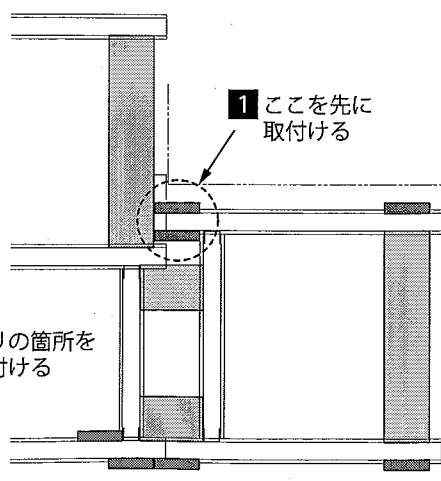
デッキよこ張り



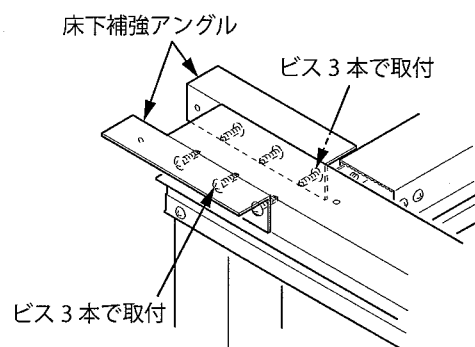
踊り場が
「本体デッキの右端」



●部品・部材の取付順序



● 図 A

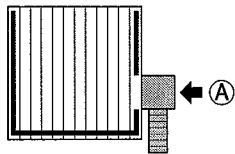


床下の施工

1-3-3 パターン 3 の場合

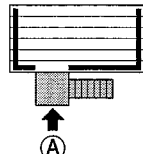
●該当する組合せ

デッキたて張り



踊り場が「本体デッキの中間」

デッキよこ張り



踊り場が「本体デッキの中間」

ME1890-119



イラストは、矢印Aの方向から見ています。



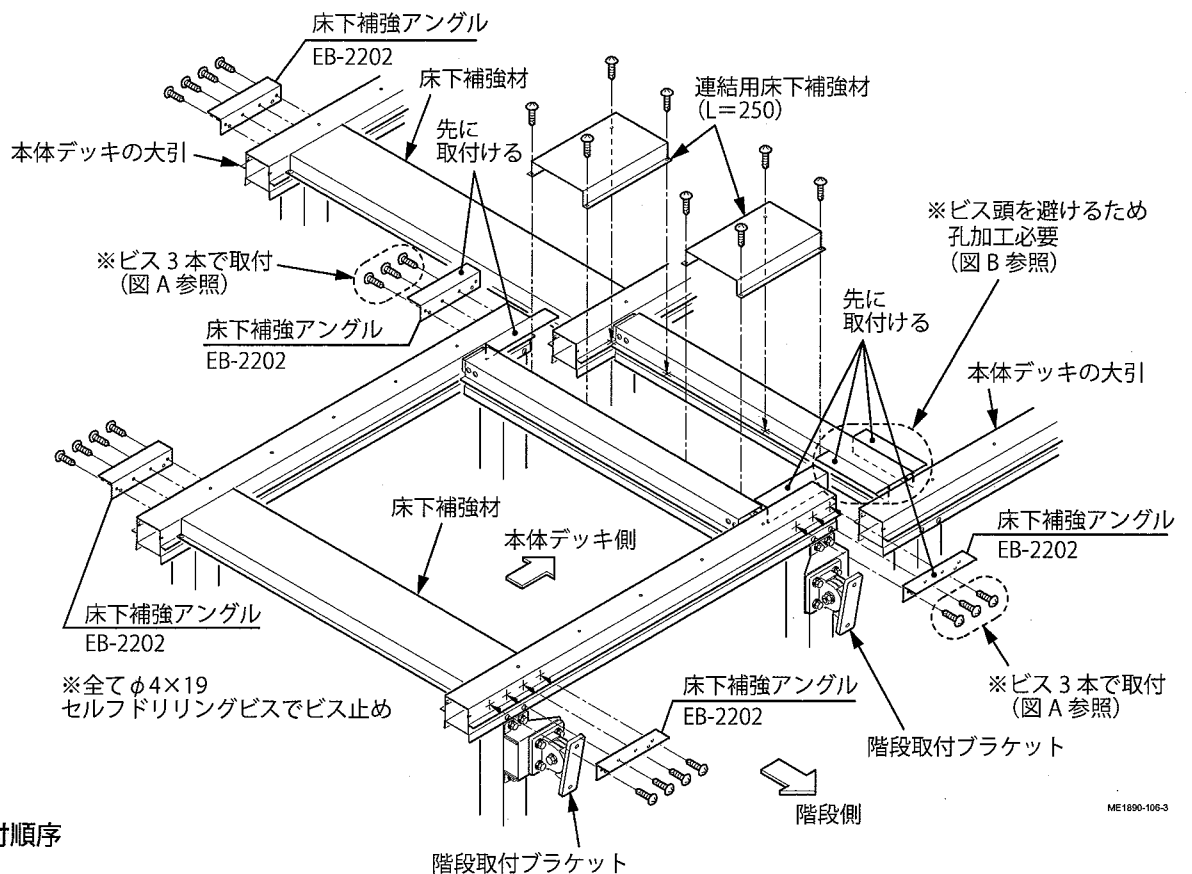
踊り場の設置位置によっては、デッキ本体と踊り場の床下構造の位置関係が左右反転します。



部品・部材の取付順序を守ってください。
※順序を守らないと、後から工具が入らなくなるため、取付ビスが打てなくなります。

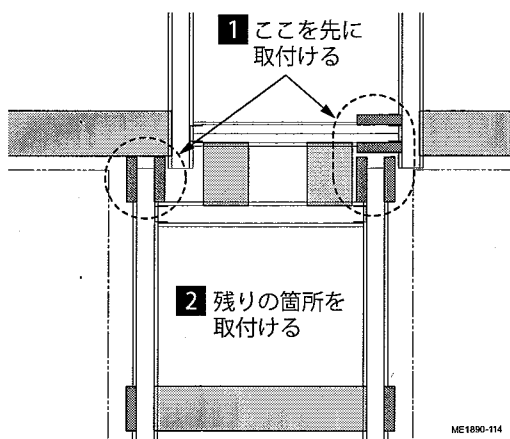


8 ページの「踊り場骨組み図」の寸法を参照してください。



ME1890-106-3

●部品・部材の取付順序

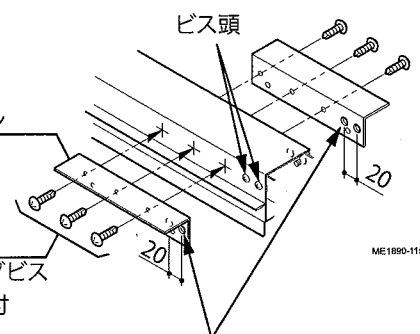


ME1890-114

●図 B

床下補強アングル
EB-2202

φ4×19
セルフドリリングビス
※ビス3本で取付



ME1890-115

※ビス頭を避けるため、φ10mm 程度の孔加工 (現物合わせ)

2

デッキ材・デッキフェンス・鼻隠しの取付け

●ファインステージの施工説明書 [ME-1778] を合わせて参照してください。

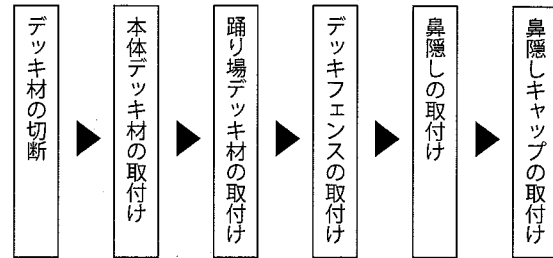
2-1 施工順序の確認

●本章は、右記の順序に従って、[ME-1778] と同じ要領で行ってください。



[ME-1778] の参照先

- 「3. デッキ材の取付け」
- 「5. デッキフェンスの取付け」
- 「6. 鼻隠しの取付け」



ME1890-205

●「2-4」で要点を説明しています。(次ページ参照)

2-2 デッキ材の切断

① 1.5 間用のデッキ材を切断し、踊り場デッキ材を作成してください。

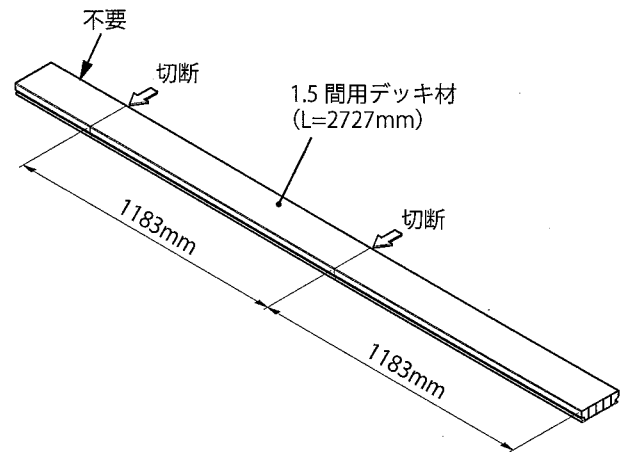


切断長さ：1183mm

- ※踊り場デッキ材として使用します。
- ※余りの部分は使用しません。(不要)



1.5 間のデッキ材を 3 本分切断し、踊り場デッキ材を 6 枚作成してください。



ME1890-206

2-3 本体デッキ材の取付け

① [ME-1778] の「3. デッキ材の取付け」を参照し、本体デッキ材を取付けてください。



パターン 2 の場合は、踊り場との接続部にデッキ材取付金具 (中間用) の取付けが必要です。(下図参照)

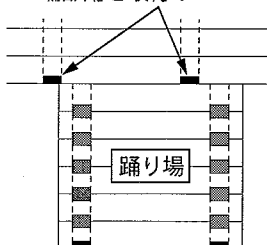


パターン 2・3 の場合は、踊り場側からデッキ材を取付けると施工しやすくなります。

●踊り場との接続部：デッキ材取付金具の位置 (本体デッキよこ張りに接続する例)

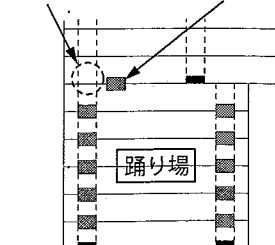
◎標準位置

標準どおり、本体デッキの大引に端部用を取付け



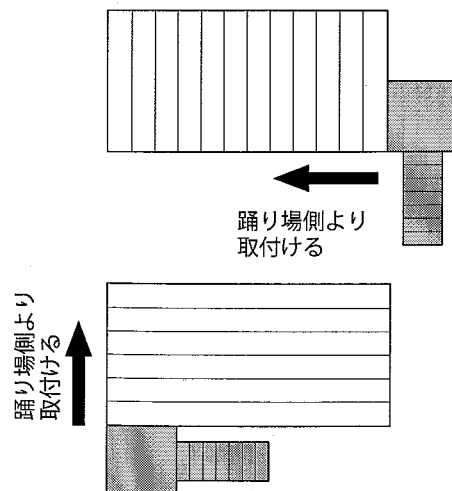
◎パターン 2 のみ

ここは取付ない ここを中間用で接続



ME1890-208

●本体デッキの施工順序：パターン 2・3 の場合



ME1890-209

■：デッキ材取付金具 (中間用) ■：デッキ材取付金具 (端部用)

2-4 踊り場デッキ材・デッキフェンス・鼻隠しの取付け

※ 19 ページのイラストで、全体のイメージを確認してください。

①鼻隠し取付金具を踊り場デッキ材の小口面に取付けてください。



鼻隠し取付金具の位置を、鼻隠しの孔位置にあわせてください。

※デッキ材との関係は右図の位置になります。あわせて確認してください。

②デッキ材取付金具を使用して、踊り場デッキ材を取付けてください。



●デッキ材取付金具の位置は 19 ページ参照。

●踊り場大引の本体デッキとの接続側には、取付金具（端部用）は不要です。

※後でデッキ下面よりビス固定します。

※パターン 2 のときは、本体デッキとの接続部に取付金具（中間用）を使用します。

③デッキ上にデッキフェンスを取付けてください。



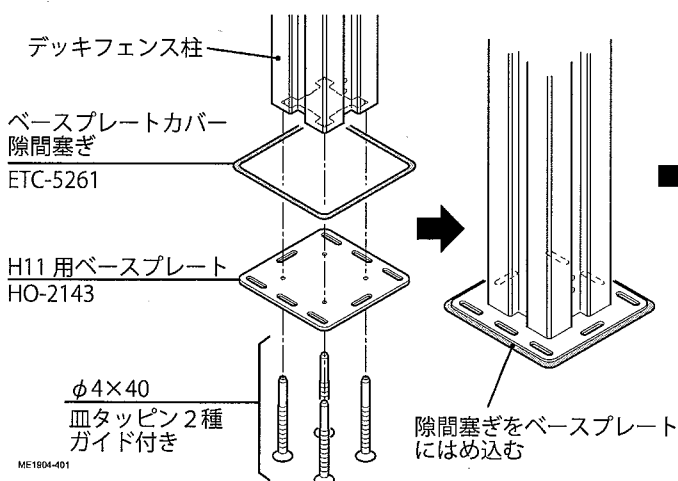
●柱下部には、ベースプレートおよびベースプレートカバーを取付けてください。

※下図で取付方法を確認してください。

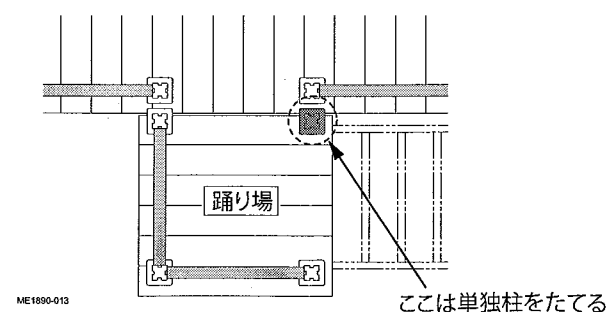
●踊り場・デッキ接続部の階段側は、単独柱を設置してください。

※下図を参照してください。

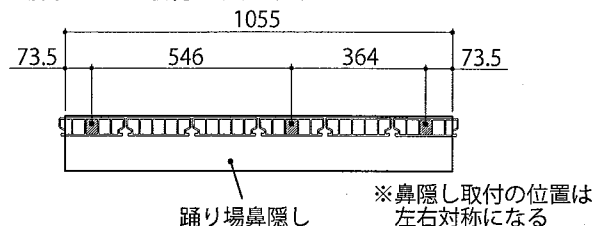
●ベースプレートの取付け



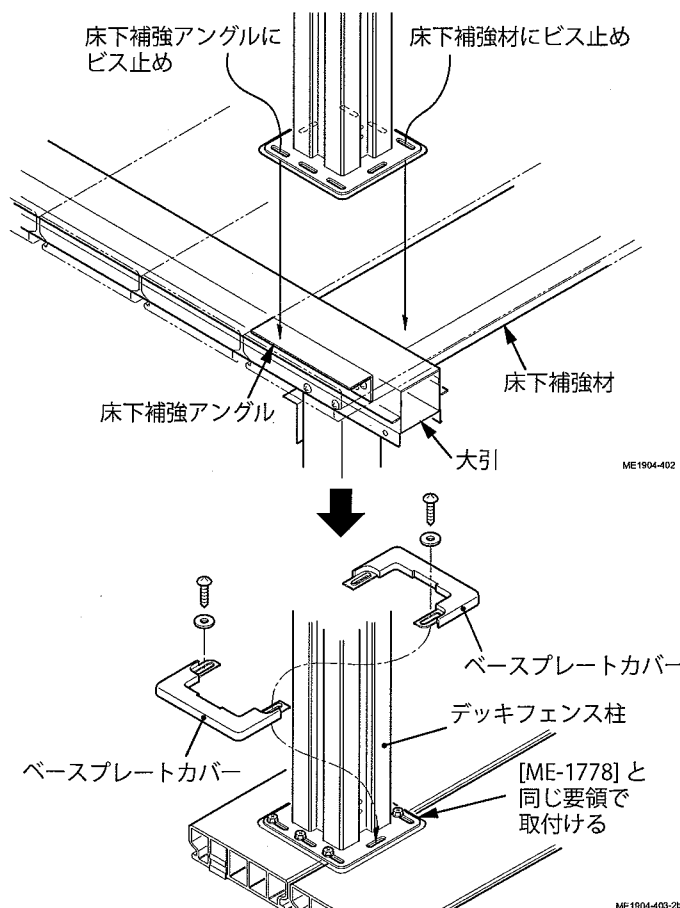
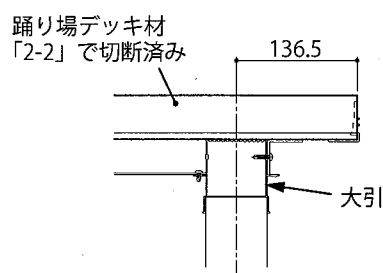
●単独柱の位置



●踊り場鼻隠し：取付金具の位置

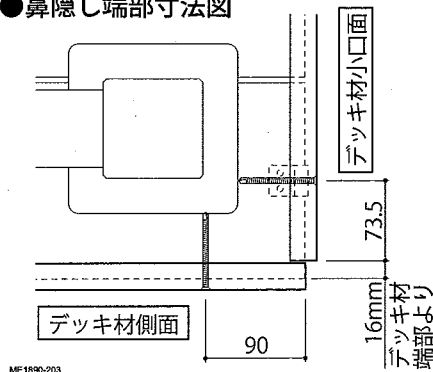


●踊り場デッキ材の取付位置



④本体および踊り場デッキ材の外周に鼻隠しを取付けてください。

●鼻隠し端部寸法図

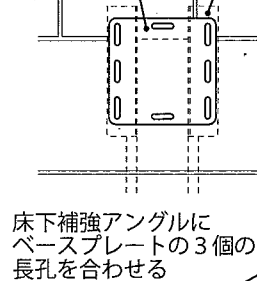


⑤鼻隠しキャップを取付けてください。



本体と踊り場の接続部には、入り隅用鼻隠しコーナーキャップを取付けてください。

●B部 床下補強アングル
ベースプレート



鼻隠し 90°
コーナーキャップ

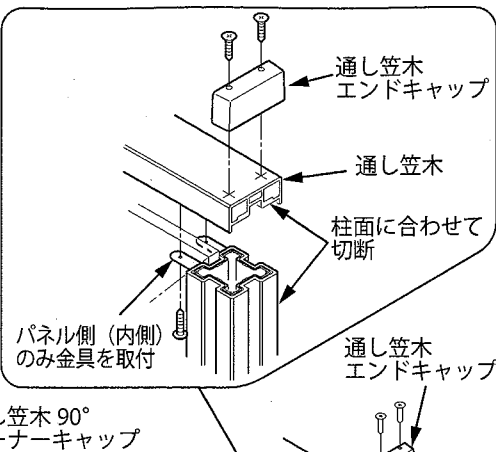
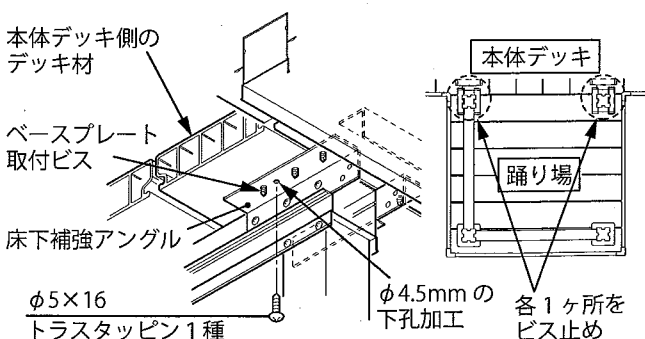
踊り場鼻隠し
(L=1185mm)

⑥踊り場デッキの下面より、デッキ止め用のビスを2ヶ所取付けてください。



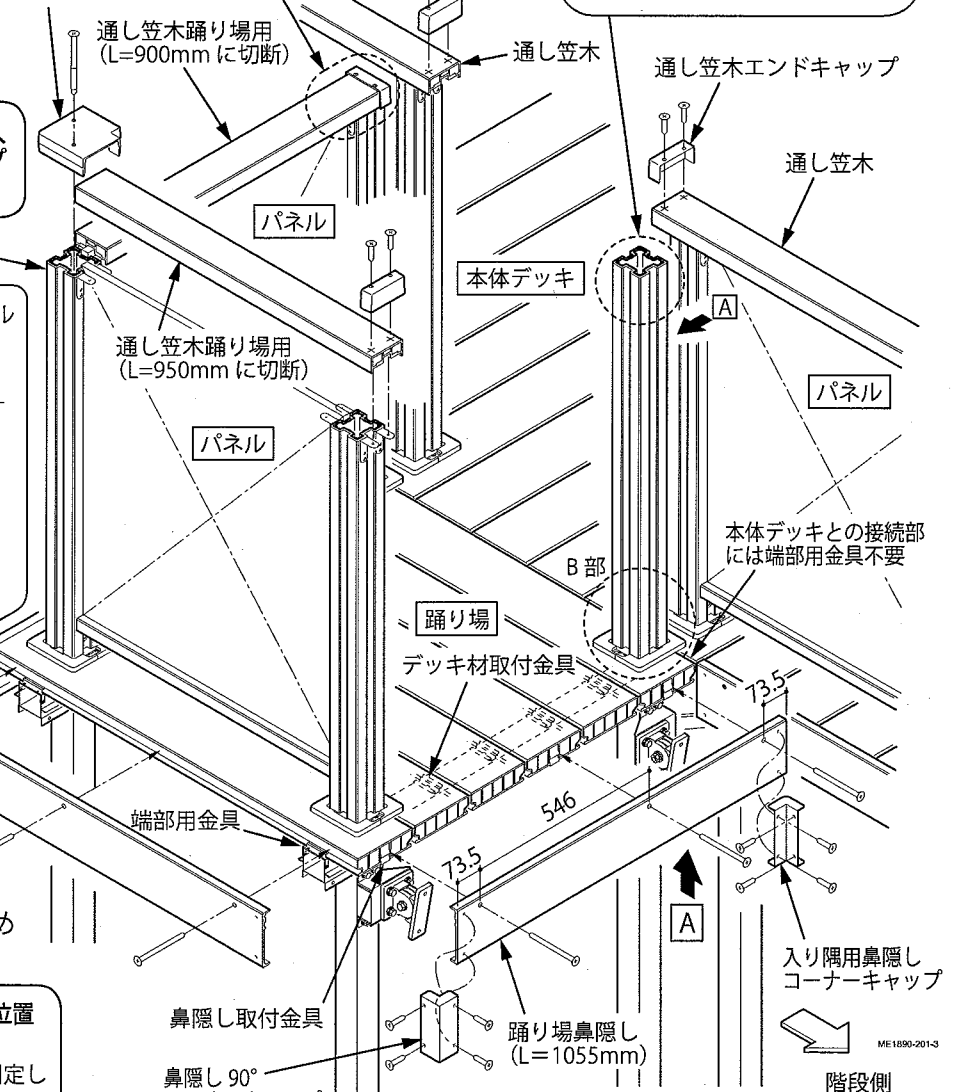
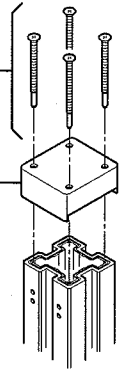
ベースプレートのビスを避けた位置で固定してください。
※できるだけ本体デッキ寄りを固定してください。

●Aから見る



●Aから見る

φ4×60
皿タッピン2種
ガイド付き
単独柱キャップ
CY-2570



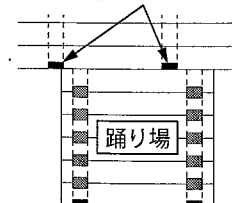
●デッキ材取付金具の位置

(本体デッキよこ張りに接続する例)

■：デッキ材取付金具 (中間用) ■：デッキ材取付金具 (端部用)

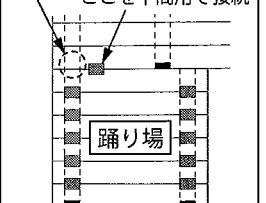
◎標準位置

本体デッキの大引に端部用を取付け



◎パターン2のみ

ここは取付ない
ここを中間用で接続



3

階段の取付け

3-1

階段踏板の取付け



現場の床面高さに合わせて蹴上げ寸法・階段踏板の枚数を調整してください。

- ①階段踏板の溝にボルト2本のボルト頭を挿入してください。
- ②「手順①」で挿入したボルトに階段踏板アングルを取付けてください。



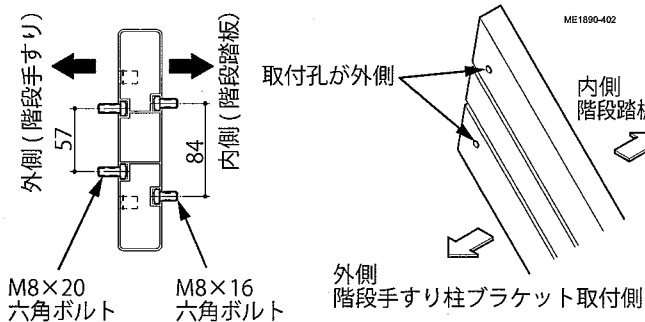
階段踏板アングルと階段踏板の端部を合わせてください。

- ③階段踏板アングルに4組のボルト・ナット類を仮止めしてください。
- ④「手順③」で階段踏板アングルに仮止めたボルト頭を階段側板（内側）の溝に挿入してください。

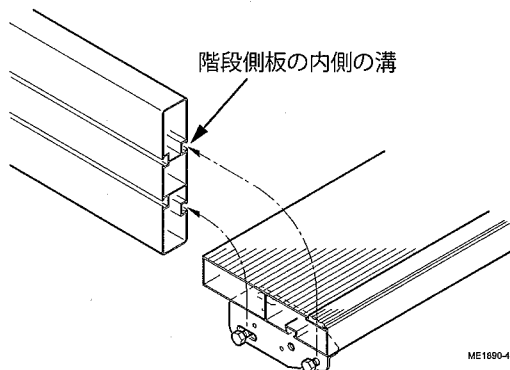


階段側板には内・外があります。
※溝の位置で区別してください。

●階段側板の内・外



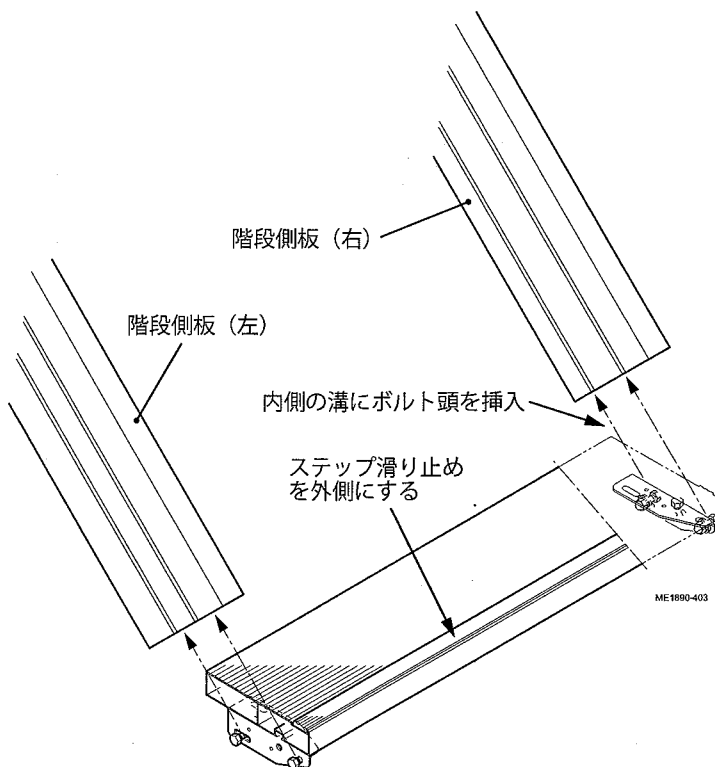
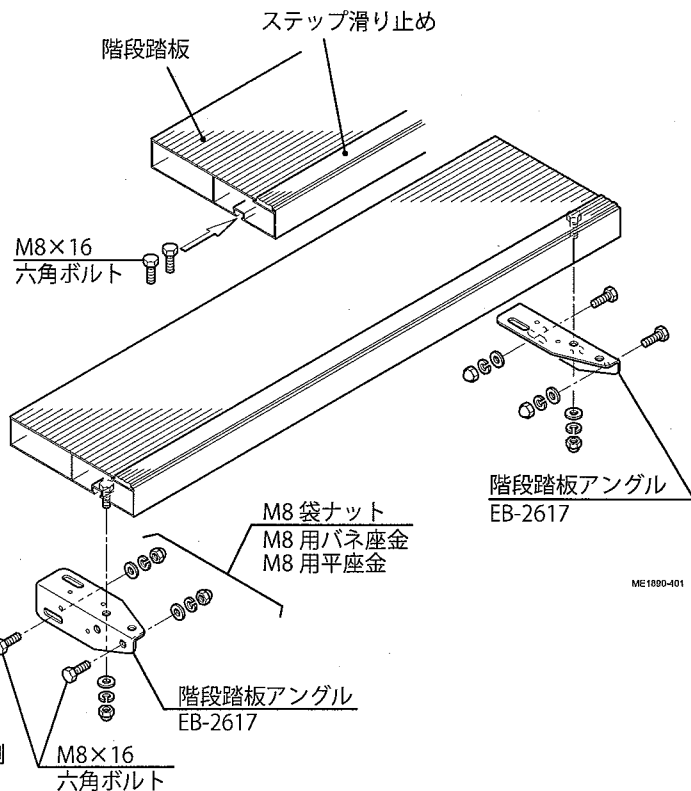
●溝への取付け



- ⑤階段踏板の位置・高さレベルを仮調整し、袋ナットを仮止めしてください。



ここでは、袋ナットを本締めしないでください。
※本締めは全体の調整後、「3-3」で行います。



3-2 階段手すり柱ブラケット・階段側板キャップの取付け



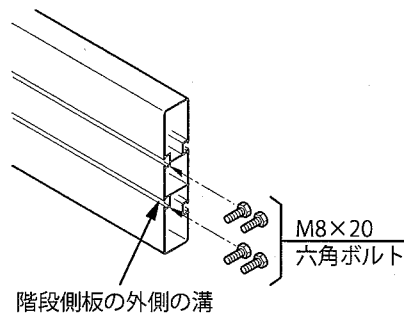
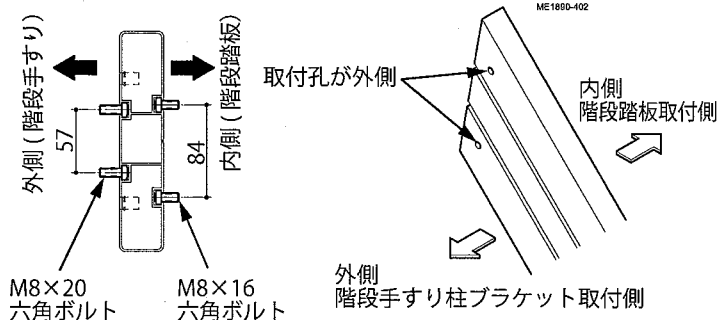
階段手すり柱ブラケットは左右各 2 個を取付けてください。

- ①階段側板 1 枚につき 4 本のボルト頭を階段側板（外側）の溝に挿入してください。



階段側板には内・外があります。
※溝の位置で区別してください。

●階段側板の内・外



- ②「手順①」で挿入したボルトに階段手すり柱ブラケットを差し込んでください。

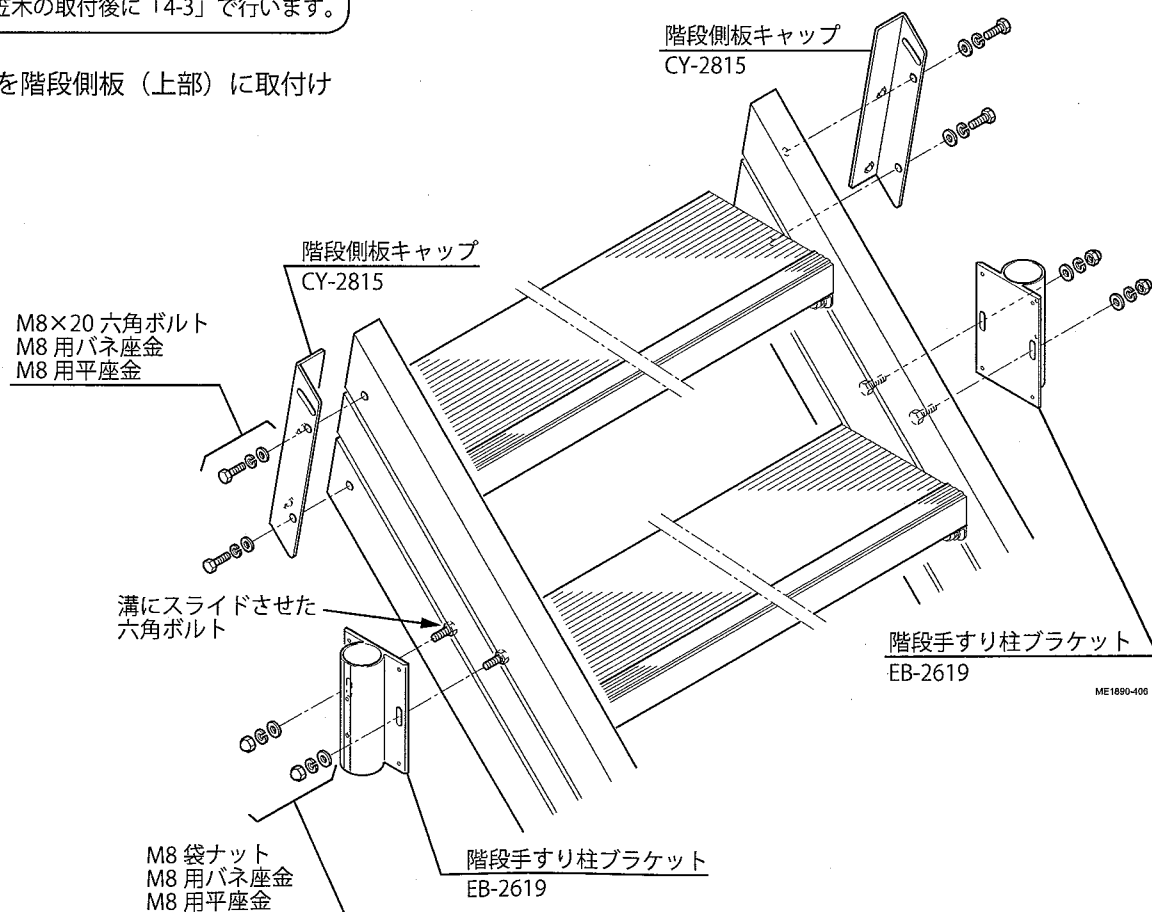
- ③位置を調整して袋ナットを仮止めしてください。



ここでは、袋ナットを本締めしないでください。

※本締めは、笠木の取付後に「4-3」で行います。

- ④階段側板キャップを階段側板（上部）に取付けてください。



3-3 階段の取付け

- ①「納まり図」で寸法を確認し、基礎穴を掘ってください。
- ②階段側板を階段取付ブラケットに取付けてください。
- ③階段側板カバーを側板に取付けてください。
- ④階段の水平レベルを調整し、階段踏板アングルのボルトを本締めしてください。
- ⑤階段踏板の位置を均等割りで決め、階段踏板の下面および側面をセルフドリリングビスで固定してください。

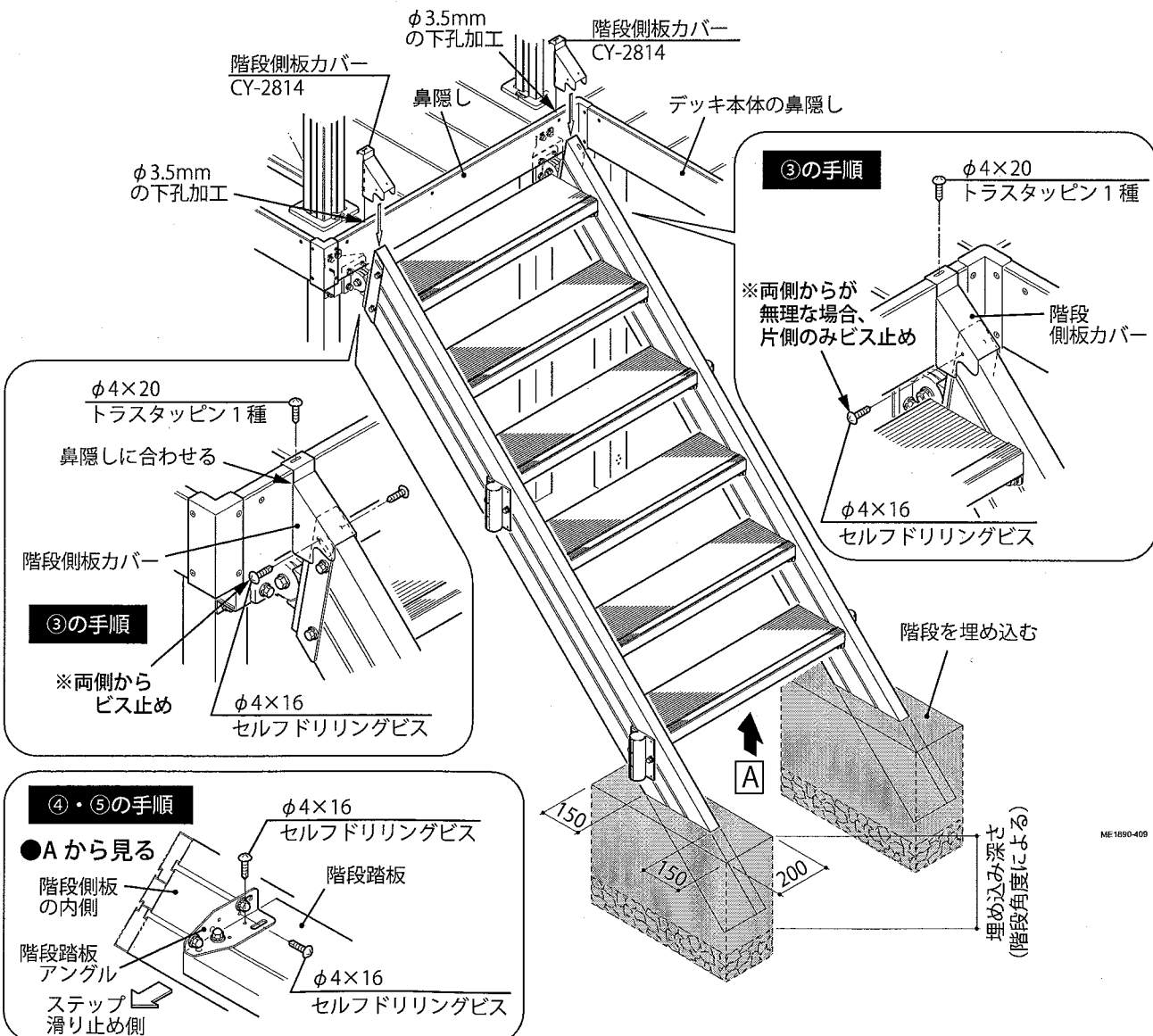
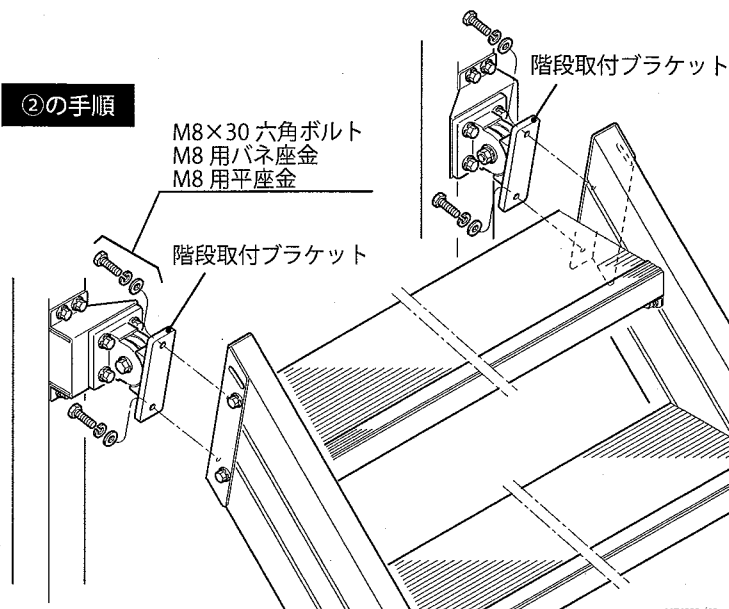


本締め後、階段全体を前後左右、および上端より荷重をかけ、ぐらつきがないことを確認してください。



ここでは、階段手すり柱ブラケットの袋ナットを本締めしないでください。
※本締めは、笠木の取付後に「4-3」で行います。

②の手順



4

手すりの取付け

●「転落防止手すり」の施工説明書 [ME-1674] を合わせて参照してください。

※ただし、パネルブラケットの向きについては本説明書の内容で行ってください。

4-1

施工前の確認



階段手すり柱には、「デッキ上」と「中間」があります。

→「デッキ上」の取付け：「4-2」を参照（24 ページ）

→「中間」の取付け：「4-4」を参照（25 ページ）



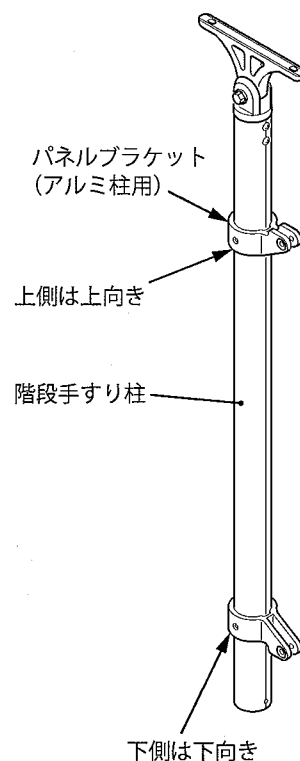
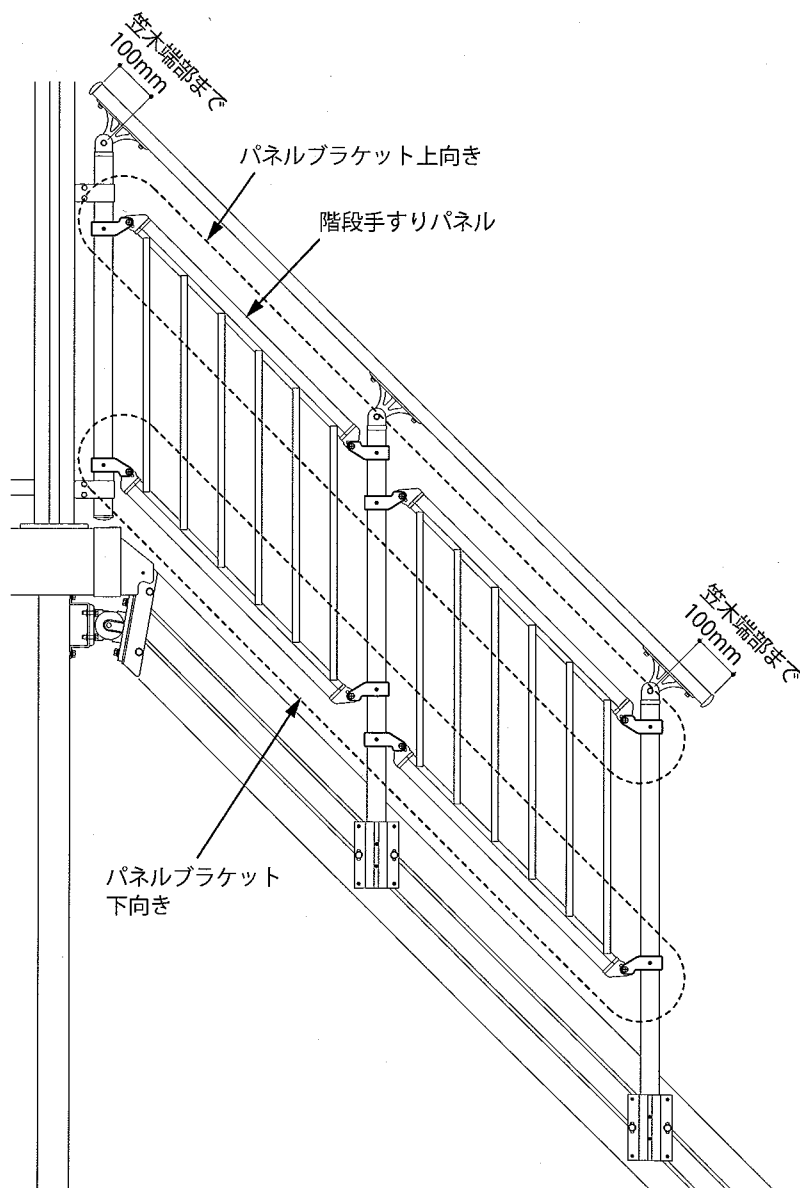
パネルブラケットの向きを、下図のように取付けてください。

※「転落防止手すり」とは向きが異なりますので注意してください。



笠木の張出し寸法は、階段手すり柱芯から 100mm にしてください。

※ 100mm より大きくなると、笠木が踊り場のデッキフェンス柱と干渉するため、取付けられなくなります。



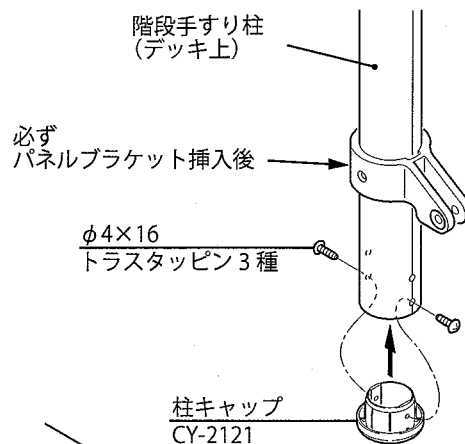
4-2 階段手すり柱（デッキ上）の取付け

- ①パネルブラケットを階段手すり柱（デッキ上）の下部より挿入してください。
- ②柱キャップを階段手すり柱（デッキ上）の下部に取付けてください。
- ③巾決め材をデッキフェンス柱に取付けてください。
- ④階段手すり柱（デッキ上）をデッキ上柱ブラケットではさみ、巾決め材に取付けてください。

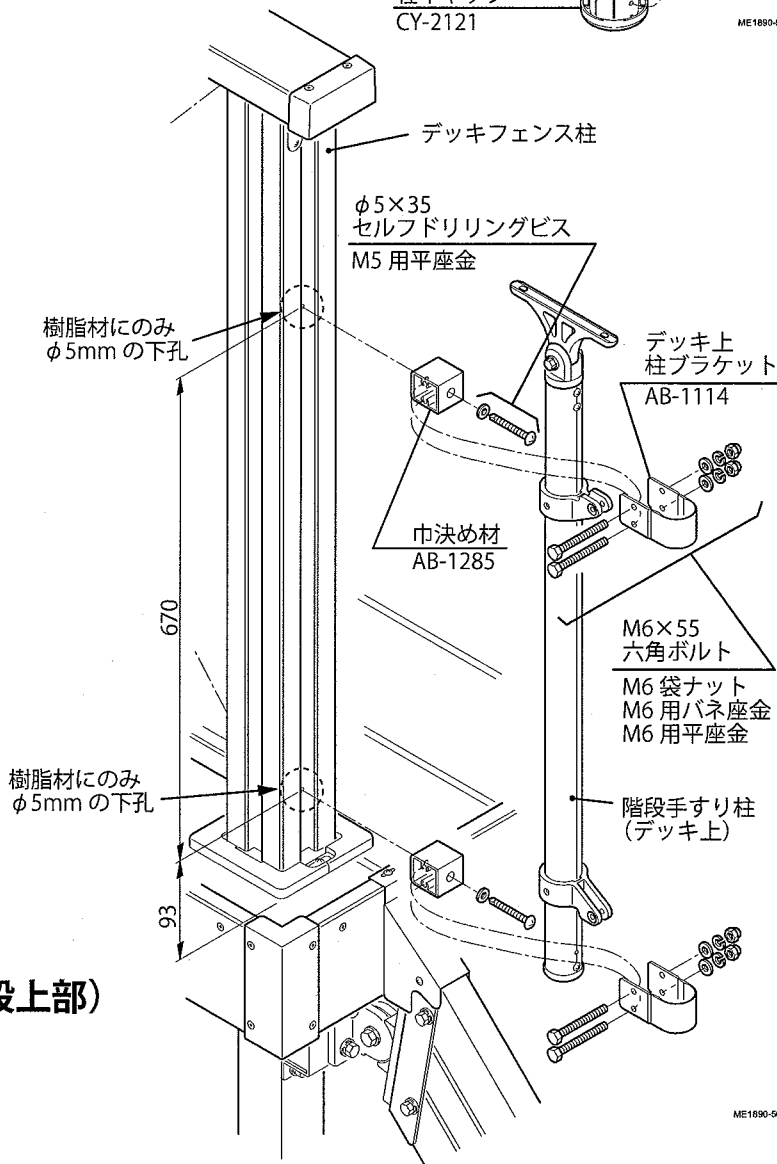


ここでは、デッキ上柱ブラケットを本締めしないでください。

※デッキ上柱ブラケットの本締めは笠木レベルの調整後、「4-6」で行います。



ME1890-502



ME1890-503-3

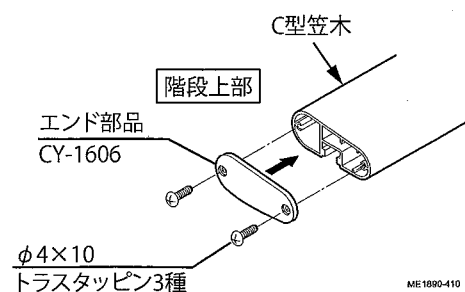
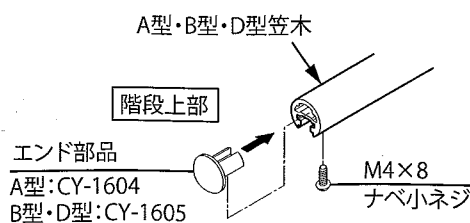
4-3 エンド部品の取付け（階段上部）



笠木の階段上部側には、先にエンド部品を取付けてください。

※笠木の階段下部側は後工程「4-5」で取付けます。

- ①笠木端部にエンド部品を取付けてください。



ME1890-410

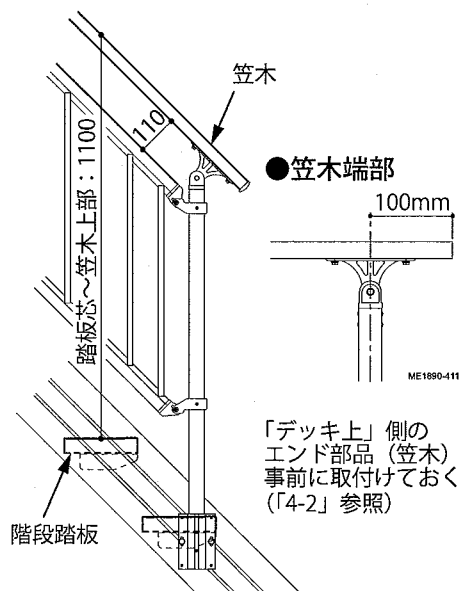
4-4 階段手すり柱（中間）・笠木・パネルの取付け

- ①パネルブラケットを階段手すり柱（中間）の下部より挿入してください。
- ②笠木を階段手すり柱（中間）に取付けてください。
- ③ [ME-1674] を参照して、階段手すりパネルをパネルブラケットに取付けてください。

- ④階段手すり柱ブラケットに階段手すり柱（中間）を差込み、位置を調整してビスで固定してください。

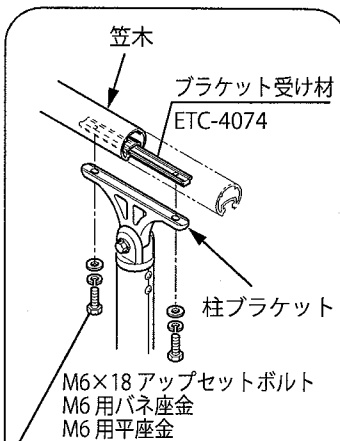
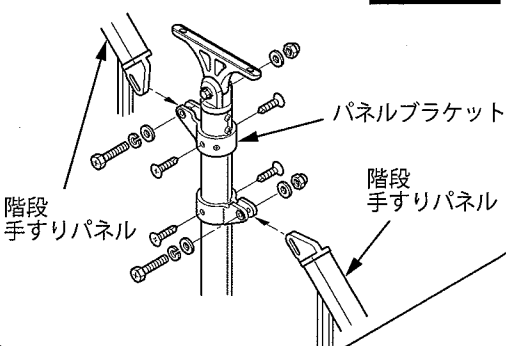


参照施工説明書：
転落防止手すり [ME-1674]



※「転落防止手すり」参照

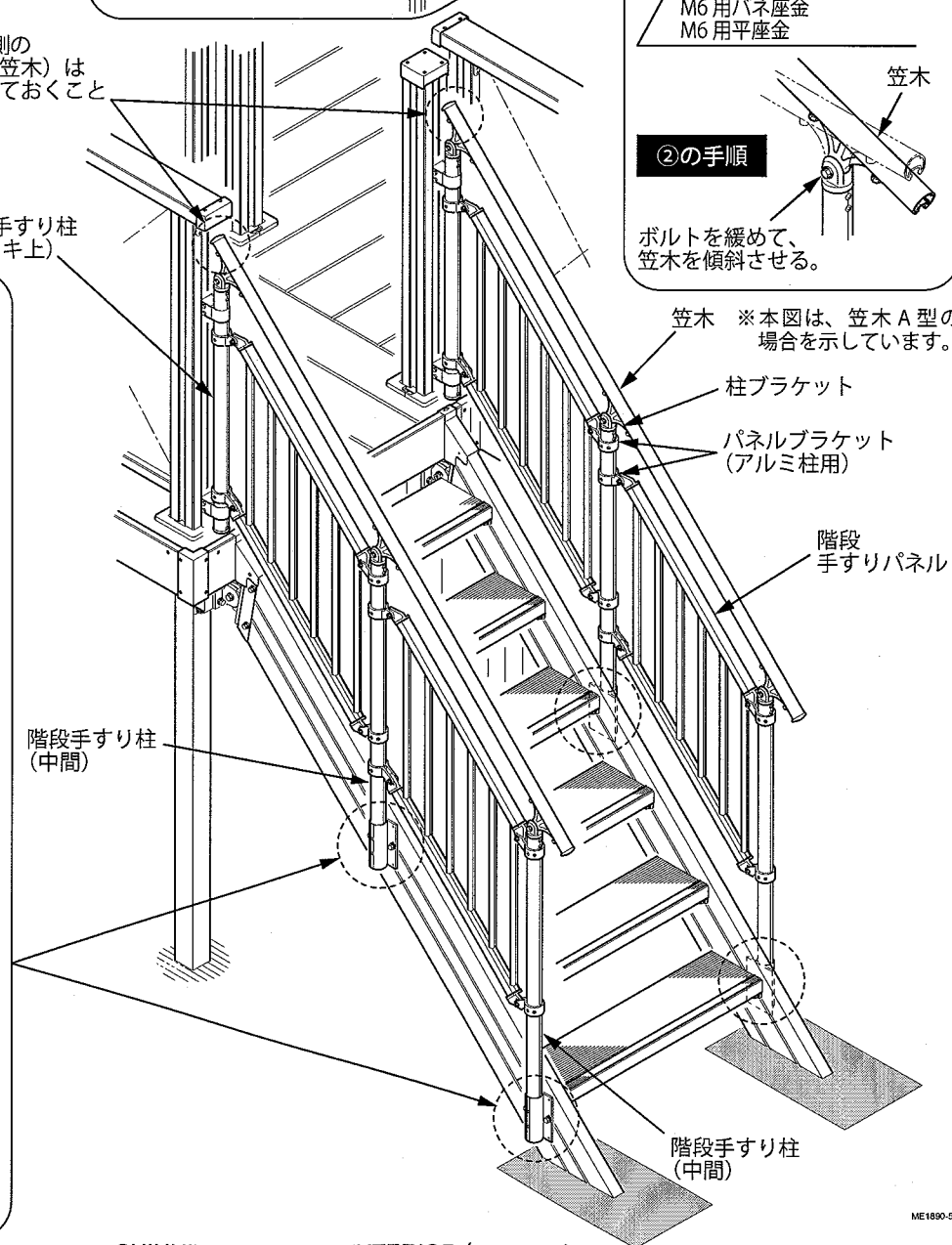
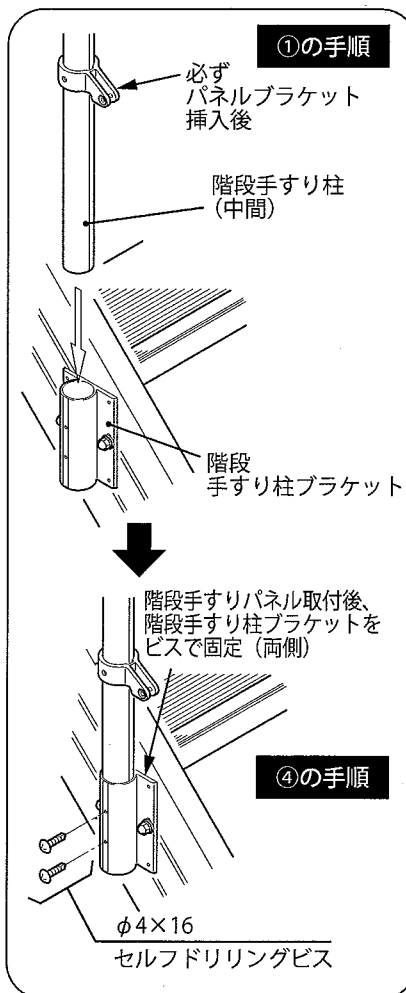
③の手順



②の手順

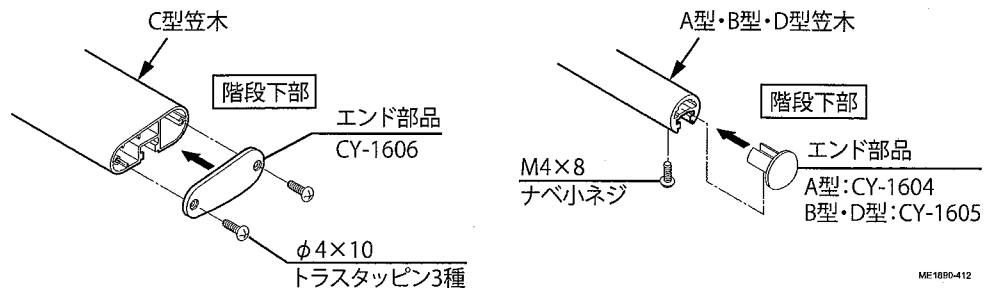
ボルトを緩めて、笠木を傾斜させる。

※本図は、笠木 A 型の場合を示しています。



4-5 エンド部品の取付け（階段下部）

① 笠木下側にエンド部品を取付けてください。



4-6 手すり柱の本締め



先に中間部の階段手すり柱の位置を調整することで、デッキ上の階段手すり柱の位置が決まります。



7ページの「階段詳細図」の寸法を参照してください。

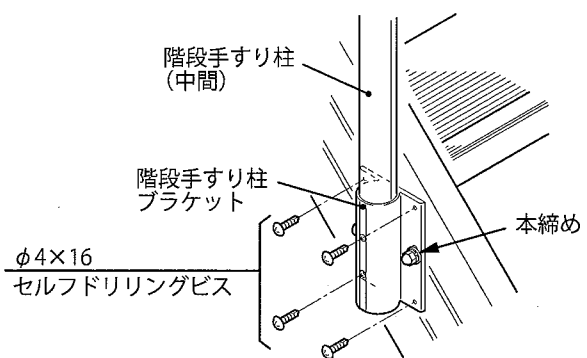
中間部の本締め

① 階段踏板の上面と笠木の上面の高さレベルを調整し、階段手すり柱ブラケットのボルトを本締めしてください。



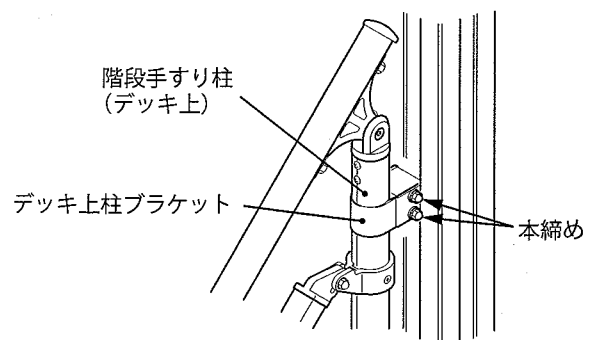
高さ調整
→ 階段踏板 巾中心の上面より
笠木上端まで：1100mm

② 階段手すり柱ブラケットをビスで階段側板に固定してください。



デッキ上の本締め

① デッキ上柱ブラケットのボルトを本締めしてください。



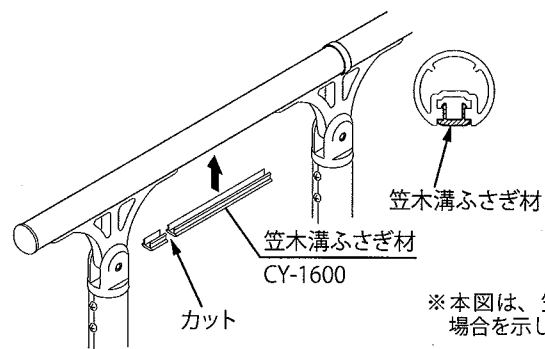
※ 本図は、笠木 A 型の
場合を示しています。

4-7 笠木溝ふさぎ材の取付け (※オプション)



笠木溝ふさぎ材は、各作業終了後に取付けてください。

- ① 笠木溝ふさぎ材を必要な長さに切断し、笠木下部にはめ込んでください。



ME1890-413

■施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施工完了日	年 月 日
施工工事店	TEL () -
販売店	TEL () -



新日軽株式会社

この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合せください。

お客様相談室



0120-37-2534

新日軽インターネットホームページ <http://www.shinnikkei.co.jp>